

3 基本目標と具体的な施策等

【細目次】

基本目標 1 住んでよし

- 1 健やかにくらせる地域づくり 26
 - (1) 健康寿命日本一を達成するための健康的な生活習慣の普及 27
 - ① たばこ対策の推進
 - ② 食育の推進
 - ③ 身体活動（運動）の普及促進
 - (2) 特定健診や介護予防などに取り組む人を増やすことによる要介護状態になる人の減少 28
 - ① 特定健診受診及び特定保健指導利用の推進
 - ② 歯科口腔保健の推進
 - (3) 疾病の早期発見や医療体制の充実等による、65歳未満の死亡率（早世）の減少 29
 - (4) 高度医療の充実、救急医療・周産期医療提供体制の構築 30
 - (5) 医師・看護師の確保 30
 - (6) 地域の医療機関による連携体制及び医療・介護サービスの需要に対応できる地域医療提供体制の構築 31
 - (7) 南和地域の医療提供体制充実 31
 - (8) 地域福祉の充実 31
 - ① 「支え合い」活動の推進
 - ② 地域福祉の担い手づくり
 - (9) 障害者支援の充実 32
 - ① 障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会づくりの推進
 - ② 障害者雇用の推進
 - ③ 障害福祉サービス等の充実
 - (10) 高齢者支援の充実 33
 - ① 地域包括ケアシステムの構築
 - ② 介護人材の確保及び介護保険制度の着実な運営
 - ③ 高齢者の生きがいづくりの推進

2	くらしやすいまちづくり	36
(1)	地域性を活かした、にぎわいのある住み良いまちづくりの推進	36
	①市町村との協働による駅・病院などの拠点を活用したまちづくり	
	②快適な歩行環境・公共空間の整備	
	③「移動ニーズ」に応じた「持続可能な交通サービス」の確保	
	④安心して住み続けられる地域づくり	
(2)	社会資本の効率的・効果的な維持管理の推進	40
(3)	「きれいに暮らす奈良県スタイル」構築・推進プロジェクト	41
	①「大和川きれい化」プロジェクト	
	②「循環型社会推進 奈良モデル」プロジェクト	
	③「奈良らしい景観づくり」プロジェクト	
3	安全・安心のまちづくり	43
(1)	災害に強い地域づくり・強靱な県土整備の推進	43
	①治水対策の計画的推進	
	②土砂災害対策の計画的推進	
	③地震に強い地域づくりの計画的推進	
	④自主防災活動（共助）の充実・強化	
	⑤啓発や訓練等（自助）の実施	
	⑥地域防災計画の着実な推進	
	⑦道路等基盤整備の計画的推進	
(2)	感染症や食の安全・安心確保、消費者被害防止のための対策の推進	48
(3)	犯罪抑止及び交通事故防止対策の推進	48
(4)	分散型エネルギーの推進と地域へのエネルギーの安定供給	49
4	結婚から妊娠・出産、子育てまで切れ目のない支援	50
(1)	結婚・子育てをみんなで支える社会づくり	50
	①社会全体での結婚から子育てまでの切れ目のない支援	
(2)	結婚の希望の実現と次代の親の育成	51
	①若者のしごとの安定	
	②次代の親の育成	
(3)	子どもの健やかな育ちの実現	51
	①子どもと親の健康の確保	
	②幼児期の学校教育・保育及び地域の子育て支援の推進	
	③子育てに関する多様な支援	
	④人間性豊かで心身ともにたくましい子どもを育てる教育環境の整備	
	⑤子どもを守り、安心して子育てできる生活環境の整備	
	⑥保護や支援を必要とする子どもや家庭への対応	

5 女性の活躍促進、ワーク・ライフ・バランスの推進	5 4
(1) ワーク・ライフ・バランスの推進	5 4
(2) 女性の就労	5 5
6 学びの支援	5 6
(1) 家庭・地域・学校が協働して、子どもを自立した社会人に育てていく ための取組の推進	5 7
①教育大綱の体系に沿った施策の推進	
(2) ライフステージに応じた学びの支援	5 8
①ニート・ひきこもりへの自立支援	
②子育てに関する学びの支援	
③生涯学習の推進	
(3) 県立大学の改革の推進	5 9
7 南部地域・東部地域への定住の促進	6 0
(1) 働く場所づくり	6 1
①農産物等のブランド化・生産拡大の推進	
②「A・B・C材全てを出して使う」林業・木材産業の推進	
③漢方のメッカ推進	
④企業誘致の推進	
⑤地域の産業興し	
(2) 暮らしやすい地域づくり	6 2
①健康、医療、福祉、介護の充実	
②教育の充実	
③子育ての支援	
④買い物等の支援	
⑤移動手段の確保	
⑥文化の振興	
⑦集落の維持・活性化	
(3) 災害に強いインフラの整備	6 3
(4) 移住の推進	6 3
①二地域居住・移住を受け入れる仕組みづくり	
②二地域居住・移住を受け入れる拠点整備	
③移住者の働く場の確保	

基本目標 2 働いて良し

1-1 経済が県内で好循環する社会の構築	64
(1) リーディング分野、チャレンジ分野における産業の育成	64
①生活関連製造業における「産業興し」	
②小売業における「産業興し」	
③医療・介護・福祉における「産業興し」	
④宿泊産業における「産業興し」	
⑤農業における「産業興し」	
⑥料理・飲食業における「産業興し」	
⑦漢方における「産業興し」	
⑧林業・木材産業における「産業興し」	
⑨教育・文化における「産業興し」	
(2) 企業誘致の推進	71
1-2 経済が県内で好循環する社会の構築（農林業）	73
(1) 奈良の美味しい「食」の創造と発信	73
①首都圏等での販路拡大	
②奈良の美味しい「食」づくり	
(2) マーケティング・コスト戦略に基づく県産農産物の振興	74
(3) 意欲ある担い手の育成・確保と農地マネジメントの推進	75
(4) 地域資源を活用した農村地域の活性化	76
(5) A・B・C材全てを搬出して多用途に供給する林業への転換	77
(6) A・B・C材毎の受け皿の確保及び県産材製品の安定流通の実現	77
(7) 森林環境の適切な保全と森林を活用した地域づくり	78
2 奈良でのしごとの場の創生	79
(1) 企業誘致の推進（企業立地促進による雇用の場の確保）	79
(2) 求人・求職のマッチングの充実としごとの創出	80
(3) これからの奈良を支える若者への就労支援と就業意識の醸成	80
(4) 働きやすい職場づくりを進めるとともに、ワーク・ライフ・バランスを推進	81

基本目標 3 訪れて良し

- 1 奈良で宿泊する周遊型観光の推進 82
 - (1) 意欲ある観光関連事業者とともに、観光産業の活性化やおもてなし環境の充実を図り、奈良で宿泊する周遊型観光を推進 84
 - (2) 旅行商品づくりやイベントの充実により、宿泊オフシーズンを解消 . . . 85
 - (3) ターゲットを明確にし、奈良の魅力を効果的に発信し、国内からの観光客及びコンベンションの誘致を推進 85
 - (4) 観光振興に寄与する基盤整備と地域資源を活用したにぎわいづくり . . . 86
 - (5) 海外に向けたプロモーション及び情報発信を推進するとともに、外国人観光客の受け入れ・おもてなし環境を充実 88

- 2 文化やスポーツで地域の魅力を向上 90
 - (1) 質の高い文化芸術を活用した、奈良の文化力の向上 91
 - (2) 文化芸術への参加、鑑賞の機会拡大による活動の裾野の拡大 91
 - (3) 文化資源を活用した地域活性化 92
 - (4) だれもが、いつでも運動・スポーツを楽しめる環境づくり 92
 - (5) 地域で楽しむスポーツ、あこがれ・感動を生むスポーツの推進 93
 - (6) 都市公園の管理・活用・整備の推進 93

- 3 南部地域・東部地域への交流の促進 95
 - (1) 観光資源となる地域資源の発見と創出 96
 - ① 特色ある食と宿泊施設等の整備推進
 - ② 美しい景観づくり
 - ③ 地域資源を活用した魅力づくり
 - ④ 多様なスポーツ施設の整備
 - (2) 南部地域・東部地域を多くの人に知ってもらうための情報発信 97
 - ① 情報発信の強化
 - (3) 実際に南部地域・東部地域を訪れてもらうための仕掛けづくり 97
 - ① スポーツイベントの開催
 - ② 音楽・芸術イベントの開催
 - ③ 地域資源を活用したイベントの開催
 - ④ 交通アクセスの支援
 - ⑤ おもてなしの向上
 - ⑥ 誘客促進の仕掛けづくり

基本目標1 住んでよし

1 健やかにくらせる地域づくり

【基本的方向】

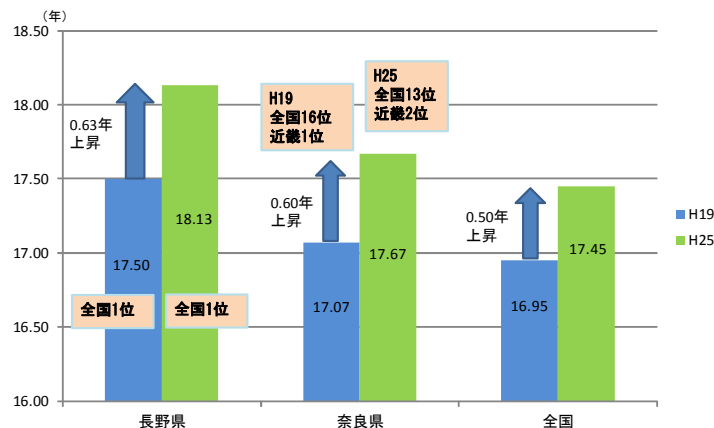
「県域地域福祉推進計画」を策定し、障害者や高齢者をはじめ、誰もが住み慣れた地域で、健やかに安心して、生きがいを持って暮らすことができる地域づくりを目指します。

また、急速に高齢化が進展する中で、健康寿命日本一を目指すとともに増大する医療・介護への需要に対応するため、「地域医療構想」の策定を通じ、効率的で質の高い医療提供体制の構築と地域包括ケアシステムの構築を進めます。

【参考図表】

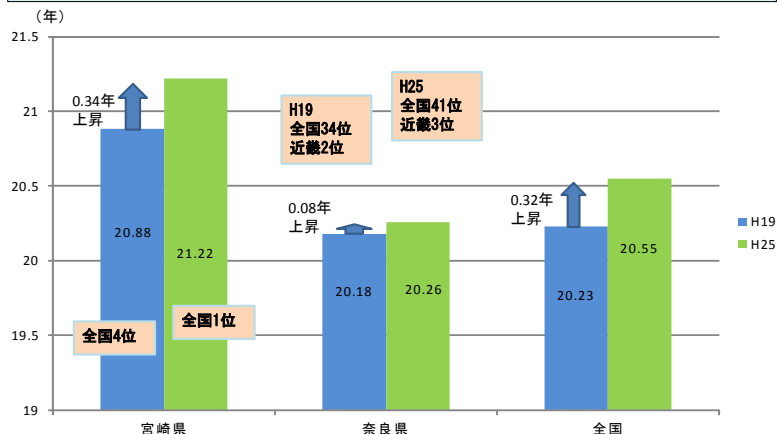
(1)健康寿命(65歳平均自立期間)・男性

○奈良県の男性の健康寿命は、平成19年から平成25年の6年間で0.60年上昇しており、全国順位も16位から13位に上昇している。



(2)健康寿命(65歳平均自立期間)・女性

○奈良県の女性の健康寿命は、平成19年から平成25年の6年間で0.08年上昇しているものの、全国順位は34位から41位に低下している。



【具体的施策】

(1)健康寿命日本一を達成するための健康的な生活習慣の普及

①たばこ対策の推進

< K P I >

指標名	現状値	目標値
喫煙率	14.0%(H26年度)	11.4%(H31年度)

<具体的な取組>

- 未成年者禁煙支援対策の推進
 - ・禁煙支援相談窓口の運営 など
- 喫煙者に対する禁煙支援
 - ・インターネットを利用した個別禁煙支援「禁煙マラソン」の無料実施
 - ・保健所におけるニコチンパッチ等を活用した禁煙指導 など
- 受動喫煙防止対策の推進
- COPD（慢性閉塞性肺疾患）対策の推進
- 市町村が実施する禁煙対策の支援充実
 - ・住民向け禁煙教室の開催 など

②食育の推進

< K P I >

指標名	現状値	目標値
食塩摂取量	男性10.8g、女性9.3g (H24年度)	男性8.8g、女性8.4g (H31年度)
野菜摂取量	男性265.9g、女性242.2g (H24年度)	男性324.8g、女性317.7g (H31年度)

<具体的な取組>

- 減塩健康食の普及啓発
 - ・子育て世代を対象とした減塩健康食の普及啓発
 - ・減塩食レシピの作成、普及 など
- 野菜摂取促進に向けた普及啓発
 - ・野菜たっぷりメニューを提供する飲食店の情報提供 など
- 食育作文コンテストの実施
- 市町村が実施する食育推進の支援

③身体活動(運動)の普及促進

< K P I >

指標名	現状値	目標値
1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上実施している人の割合	43.6%(H26年度)	50%以上(H31年度)

<具体的な取組>

- 奈良県健康ステーションの運営・おでかけ健康法の普及、促進
 - ・奈良県健康ステーションの運営、おでかけ健康セミナーの開催 など
- おでかけ健康フェスタの開催
- 市町村営健康ステーションの設置促進
 - ・健康ステーションの運営支援
 - ・健康ステーションスタッフ(健康サポーター)の育成支援

(2) 特定健診や介護予防などに取り組む人を増やすことによる要介護状態になる人の減少

①特定健診受診及び特定保健指導利用の推進

< K P I >

指標名	現状値	目標値
特定健診受診率	29.5%(H26年度)	60.0%(H31年度)
特定保健指導利用率	14.4%(H26年度)	60.0%(H31年度)

<具体的な取組>

- データヘルス計画(保健事業の実施計画)の策定支援
- 特定保健指導担当者を対象とした技術向上研修会の実施
 - ・特定保健指導終了率の向上のためのスキルアップ研修の実施 など
- スマートフォン等のICTを活用した健康づくり・生活支援の推進
- 市町村が実施する特定健診受診率等向上の取組支援
 - ・未受診者に対する個別受診勧奨及び再勧奨の実施
 - ・休日や夜間健診等実施体制の充実 など

② 歯科口腔保健の推進

< K P I >

指標名	現状値	目標値
歯科医師による定期的なチェック (1年に1回)を受けている人の割合 (20歳以上)	男性38.2% 女性43.4% (H26年度)	男性45.6% 女性47.5% (H31年度)

< 具体的な取組 >

- 歯科口腔保健に係る知識普及と意識啓発
 - ・ 妊婦、高齢者・障害者（児）入所施設職員等に対する研修会等の実施 など
- 介護予防等と連携した歯科口腔保健指導等の充実
 - ・ 公民館等での歯科検診や歯科口腔保健指導の実施 など
- 歯科口腔保健推進に係る人材の確保
 - ・ 市町村職員を対象とした研修の実施
 - ・ 歯科衛生士等の復職支援体制の構築 など
- 市町村が実施する歯科口腔保健推進の取組支援
 - ・ 特定健診で発見された糖尿病患者等に対する歯科口腔保健指導の取組支援 など

(3) 疾病の早期発見や医療体制の充実等による、65歳未満の死亡率(早世)の減少<がん検診の推進、受診体制強化、普及啓発>

< K P I >

指標名	現状値	目標値
がん検診の受診率	胃がん34.7% 肺がん31.0% 大腸がん33.9% 子宮がん29.0% 乳がん31.4% (H26年度)	胃がん50.0% 肺がん50.0% 大腸がん50.0% 子宮がん50.0% 乳がん50.0% (H31年度)

< 具体的な取組 >

- がん検診の普及啓発の推進
 - ・ 「がん検診を受けよう！」なら県民会議の活動促進
 - ・ 出張がん予防教室の実施 など

- がん検診精度向上の推進
 - ・従事者研修会の実施 など
- 市町村が実施するがん検診受診率向上の取組支援
 - ・受診勧奨、再勧奨の支援
 - ・がん予防推進員の養成 など

(4) 高度医療の充実、救急医療・周産期医療提供体制の構築

< K P I >

指標名	現状値	目標値
小児の一次救急医療体制を県内 全市町村で確保	32市町村(H24年度)	39市町村 (広域連携による整備を 含む)(H29年度)
ハイリスク妊婦県内受入率	94.7%(H26年度)	100.0%(H31年度)

< 具体的な取組 >

- 北和地域の高度医療拠点病院として県総合医療センターを整備
- 中南和地域の高度医療拠点病院として県立医科大学附属病院を整備
- 質の高いがん医療の提供
- ER体制の確立
- 休日夜間応急診療所の体制整備
- 周産期母子医療センターの充実

(5) 医師・看護師の確保

< K P I >

指標名	現状値	目標値
(医師)臨床研修医定員充足率	90%(H27年度)	94%(H31年度)
(看護師)病院看護職員の離職率	11.0%(H25年度)	9%(H31年度)

< 具体的な取組 >

- 安定的な医師配置システムの運営
- 医師確保修学資金の貸与
- 臨床研修医確保の推進
- 看護師の階層別研修、キャリアアップ支援の実施
- 医療勤務環境改善支援センターの運営
- ナースセンターによる再就業支援、復職研修の実施

(6)地域の医療機関による連携体制及び医療・介護サービスの需要に対応できる地域医療提供体制の構築

＜KPI＞

指標名	現状値	目標値
在宅(自宅+老人ホーム)看取り率	全国5位、21.2%(H25年度)	全国1位(H31年度)

＜具体的な取組＞

- 多職種による在宅医療連携体制の構築
- 在宅医療に携わる人材育成及び県民等に対する在宅医療の普及啓発
- 様々な在宅医療(歯科・薬剤・訪問看護等)の提供体制の構築

(7)南和地域の医療提供体制充実<平成29年度までに、南和地域の3つの公立病院の役割分担、機能再編を進める>

＜KPI＞ 県民アンケート調査満足度は5段階評価

指標名	現状値	目標値
急病時に診てもらえる医療機関があること (県民アンケート調査満足度)	〈南東部地域〉 2.34ポイント(H26年)	〈南東部地域〉 3.00ポイント(H31年)
	〈南西部地域〉 2.36ポイント(H26年)	〈南西部地域〉 3.00ポイント(H31年)

＜具体的な取組＞

- 医療提供体制の充実に向け南奈良総合医療センター・吉野病院・五條病院の整備
- 地域の救急を断らない病院を目指して、救急医療を強化
- 災害対策の医療を強化
- 高齢者のニーズにあった長期間の入院医療の充実
- 在宅医療やへき地医療の強化など地域に密着した医療サービスの強化

(8)地域福祉の充実

①「支え合い」活動の推進

＜KPI＞

指標名	現状値	目標値
小さな拠点づくりモデル地区でのサロン参加登録者の割合	0%(H27年度)	地域の高齢者数の30%以上(H31年度)

※参考:モデル地区の高齢者数207人

<具体的な取組>

○小さな拠点づくりの推進

- ・モデル地区における「小さな拠点」(①集い機能、②相談・訪問機能、③生活支援機能)づくりの推進 など

②地域福祉の担い手づくり

< K P I >

指標名	現状値	目標値
福祉・介護人材の育成等に取り 組む事業所認証制度の登録事業 所数	0事業所(H27年度)	県内事業所数の50%以 上(H31年度)

※参考:県内の中規模以上(従事者20人以上程度)の事業所数約430

<具体的な取組>

○奈良県福祉・介護人材確保協議会による福祉・介護人材確保の取組の推進

- ・福祉・介護の人材の確保・定着に向け、①人材確保・育成、②労働環境改善等を関係機関と協働連携して推進

○奈良県福祉・介護事業所認証制度の推進

- ・県が事業所の人材育成制度や給与体系などの整備状況を審査し、認証し、「見える化」を推進

(9)障害者支援の充実

①障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会づくりの推進

< K P I >

指標名	現状値	目標値
あいサポーター人数	5,629人(H26年度)	23,500人(H31年度)
あいサポート企業・団体数	30団体(H26年度)	117団体(H31年度)

<具体的な取組>

○奈良県障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会づくり条例の推進

- ・奈良県障害者相談等調整委員会の運営、相談員の配置 など

○まほろば「あいサポート運動」の取組を推進

- ・多様な障害特性や障害のある人への配慮の方法等についての県民理解の促進 など

○障害者の社会参加の促進

- ・意思疎通支援、障害特性に応じた情報提供、スポーツ・文化芸術活動等の充実 など

②障害者雇用の推進(一般就労への支援、福祉的就労の支援)

< K P I >

指標名	現状値	目標値
障害者雇用率	2.22%(H26年度)	2.57%(H31年度)
月額平均工賃	14,335円(H26年度)	20,000円(H31年度)

<具体的な取組>

(一般就労への支援)

○一般企業等における雇用の促進

- ・「障害者はたらく応援団なら」の取組推進 など

○働く実感をつかみ社会を知るための職場実習機会の拡大と充実

- ・就労連携コーディネーターの配置、職場実習ジョブサポーターの派遣 など

(福祉的就労の支援)

○障害者就労施設等からの優先調達の推進と工賃の向上

- ・「はたらく障害者応援プレミアム商品券」の発行 など

○売れる商品づくりの推進

- ・商品の品質向上、販売会・カタログ等を活用した商品のPRの実施 など

③障害福祉サービス等の充実

< K P I >

指標名	現状値	目標値
障害者グループホーム定員数	825人(H26年度)	1,355人(H31年度)

<具体的な取組>

○福祉・介護人材の確保・育成

- ・障害福祉サービス事業所等の従事者の確保及び資質向上のための各種研修の実施 など

○住まいの確保

- ・障害者施設・グループホームの整備 など

(10)高齢者支援の充実

①地域包括ケアシステムの構築

市町村の取組支援、医療・介護連携の推進、在宅介護サービス等の充実
認知症施策の推進、高齢者が暮らしやすい住まいづくり・まちづくりの
推進

< K P I >

指標名	現状値	目標値
居宅で介護サービスを受ける高齢者の割合	81.6% (H26年)	84.0%以上 (H31年)
退院調整の普及(退院調整ルールを導入する県内医療機関の数)	東和医療圏6病院 (H27年度)	県内全病院 (H31年度)
小規模多機能型居宅介護事業所数	37箇所 (H27.4.1)	70箇所 (H31年度)
奈良県総人口に占める認知症サポーターの割合	3.3% (H27.6末)	5% (H31年度)
特定施設入居者生活介護事業所の定員数	3,852床 (H26年度)	5,100床 (H31年度)

<具体的な取組>

○地域包括ケアの構築に取り組む市町村等への支援

- ・地域包括ケアシステムの構想づくりなどモデル的取組を行う市町村等への支援
- ・西和地域や南和地域など広域的な取組が必要な市町村等への支援
- ・生活支援サービス創出に向けた人材育成 など

○医療・介護連携の推進

- ・退院調整ルールの導入とその運用状況の確認
- ・医療・介護職等による多職種連携の取組への支援
- ・訪問看護サービスの普及・促進 など

○地域密着型介護サービス等の普及促進

- ・小規模多機能型居宅介護事業所、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所、訪問看護ステーションの整備 など

○認知症の人と家族にやさしい地域づくりの推進

- ・市町村の認知症初期集中支援チームや認知症地域支援推進員の配置を支援
- ・認知症サポーターの養成 など

○特定施設入居者生活介護事業所の整備

○高齢者が安心して暮らせる住まいづくり

- ・サービス付き高齢者向け住宅の供給促進
- ・県営住宅の更新とあわせた高齢者等に必要なサービス施設の整備
- ・県営住宅の建替、改善の推進

②介護人材の確保及び介護保険制度の着実な運営

< K P I >

指標名	現状値	目標値
福祉・介護人材の育成等に取り 組む事業所認証制度の登録事業 所数(再掲)	0事業所(H27年度)	県内事業所数の50%以 上(H31年度)
※参考:県内の中規模以上(従事者20人以上程度)の事業所数約430		
介護保険施設の定員数		
特別養護老人ホーム	6,491床	7,440床
老人保健施設	4,473床(H27.4.1)	5,090床(H31年度)

<具体的な取組>

- 奈良県福祉・介護人材確保協議会による福祉・介護人材確保の取組の推進
(再掲)
 - ・福祉・介護の人材の確保・定着に向け、①人材確保・育成、②労働環境改善等を関係機関と協働連携して推進
- 奈良県福祉・介護事業所認証制度の推進(再掲)
 - ・県が事業所の人材育成制度や給与体系などの整備状況を審査し、認証し、「見える化」を推進
- 介護保険施設等の整備(改修等によるサービスの充実と質の向上)
 - ・介護老人福祉施設、介護老人保健施設の整備 など
- 介護人材の確保・育成
 - ・介護サービス事業所、施設の従事者の確保及び資質向上のための各種研修の実施 など

③高齢者の生きがいの推進

< K P I >

指標名	現状値	目標値
1日30分以上の運動・スポーツを 週2回以上実施している人の割合 (再掲)	43.6%(H26年度)	50%以上(H31年度)

<具体的な取組>

- 健康づくり・介護予防の推進
 - ・高齢者スポーツ文化交流大会の開催 など
- 高齢者の社会参加の促進
 - ・高齢者の生きがいのための就労支援、シニア地域貢献活動実践者研修の実施 など

2 暮らしやすいまちづくり

【基本的方向1】

まちづくりに前向きな市町村と連携協定を結び、駅・病院などの拠点を活用したまちづくりを県と市町村が協働で推進するとともに、拠点と地域との連携を強化するため、道路ネットワークの形成を図ります。

また、公共交通基本計画等の策定により県・市町村・交通事業者等が協働して「移動ニーズ」に応じた交通サービスの充実を図るとともに、新たな取組を進めます。

さらに、空き家の解消等既存住宅ストックの有効活用を促す取組や、県営住宅の更新とあわせた地域拠点の再整備の推進を図り、住環境の整備に取り組みます。

【具体的施策】

(1) 地域性を活かした、にぎわいのある住み良いまちづくりの推進

① 市町村との協働による駅・病院などの拠点を活用したまちづくり

< K P I >

指標名	現状値	目標値
まちづくりに関する基本構想策定地区数	0地区(H26年度)	30地区(H31年度)

< 具体的な取組 >

○連携協定に基づき市町村と協働でまちづくりを推進

・駅や病院等を拠点としたまちづくりを推進

○医療を中心としたまちづくり

・県立医科大学の教育研究部門の移転にあわせた大学・附属病院の基盤整備及び周辺まちづくりの推進(新駅招致、Medicine-Based Town等)

・県総合医療センターの整備にあわせた基盤整備及びまちづくりの推進

② 快適な歩行環境・公共空間の整備

< K P I >

指標名	現状値	目標値
骨格幹線道路ネットワーク(路線の線的整備箇所)の整備率	22%(H26年度)	48%(H31年度)
京奈和自動車道(奈良県域)の整備率	50%(H26年度)	65%(H31年度)
国道163号清滝生駒道路(奈良県)	0%(H26年度)	7%(H31年度)

域)の整備率		

国道168号五條新宮道路(奈良県	10%(H26年度)	19%(H31年度)
域)の整備率		

市街地等幹線道路の無電柱化率	8%(H26年度)	12%(H31年度)

<具体的な取組>

○児童や高齢者、障害者等の多くの人々が利用する箇所等での交通安全施設整備

- ・ 通学路等の歩行空間の整備

国道166号（宇陀市大宇陀拾生～石清水）、奈良精華線（奈良市二条町）、福住横田線（天理市櫛本町）、大和郡山上三橋線（大和郡山市城南町）など

- ・ 交通安全対策を実施

国道168号（五條市本陣）、国道25号（奈良市小倉町）、国道169号（橿原市大久保町） など

- ・ 無電柱化の推進

豊浦大和八木停車場線（橿原市八木町）、橿原神宮東口停車場飛鳥線（明日香村飛鳥）、国道168号（王寺道路）、（都）奈良橿原線（油阪町～杉ヶ町）、（都）城廻り線（天理町～北郡山町） など

○歩行空間における、とどまり・ゆったりできる憩い空間の整備

- ・ 河川沿いの遊歩道整備と憩える広場整備

○観光地周辺の公共空間の美装化

- ・ 主要道路沿道の重点的な除草の実施
- ・ 不法占用対策の強化

○川辺のまちづくり

- ・ 協議会・懇談会による川辺のまちづくりの検討・整備
- ・ 医療・教育・福祉施設等の既存施設間の連携
- ・ 河川空間の整備 など

○骨格幹線道路ネットワークの形成

- ・ 京奈和自動車道（大和北道路）、（大和御所道路 大和区間）、（大和御所道路 御所区間）、（一般部）の整備促進
- ・ 国道163号清滝生駒道路の整備促進
- ・ 国道168号（長殿道路）、（風屋川津・宇宮原工区）、（十津川道路）の整備促進
- ・ 国道168号（新天辻工区）、（十津川道路Ⅱ期）、国道169号（新伯母峯トンネル）の早期事業化
- ・ 国道168号（阪本工区）、（辻堂BP）、（川津道路）、国道169号（高取BP）、国道168号（王寺道路）等の整備推進

○生活利便の向上に資する道路整備

- ・ 椿井王寺線（椿井～三室工区）、天理斑鳩線（阿波工区）、月瀬三ヶ谷線等の整備推進

③「移動ニーズ」に応じた「持続可能な交通サービス」の確保

< K P I >

※「公共交通基本計画」策定後に改めてKPIを設定。指標は主なものを掲載

指標名	現状値	目標値
ノンステップバス導入率(対象車両数比)	35.4%(H26年度)	70%(H32年度)
駅の段差解消率(1日の平均利用者数3千人以上)	68.8%(H26年度)	100%(H32年度)
県内の複数市町村を跨ぐ路線バス・市町村連携コミュニティバスの		
1便当たり利用者数	-	3.0人/日以上
平均乗車密度	-	2.0人以上
最大乗車人員	-	10.0人以上
収支率	-	40%以上(交通事業者)
	-	20%以上(市町村連携)
利用者1人当たりの行政負担	-	2,000円/人以下

< 具体的な取組 >

○誰もが安心して暮らせるモビリティの確保／公共交通機関を利用した便利で快適なまちづくり

- ・ 公共交通の総合的かつ計画的な施策の推進
- ・ リニア中央新幹線の建設促進（三重・奈良ルートの早期実現、東西大動脈輸送ルートの二重系化）
- ・ 過疎地域等における基幹的な生活交通の確保
- ・ 市町村のコミュニティバス等への支援
- ・ 奈良交通(株)との連携協定に基づくバス交通支援
- ・ 公共施設等に接続するノンステップバスの導入への支援
- ・ 高齢者等が安心して移動できる歩行空間のバリアフリー化
国道166号（葛城市尺土）、国道169号（橿原市兵部町）など
- ・ 鉄道駅等のバリアフリー化

○高速道路ネットワークを賢く使う

- ・ 名神、新名神、名阪国道での最適交通分担を実現する交通需要マネジメントの取組を促進

④安心して住み続けられる地域づくり

< K P I >

指標名	現状値	目標値
空家等対策計画を策定する市町村の割合	0% (H27年度)	50%以上 (H31年度)

< 具体的な取組 >

○既存住宅ストックの有効活用

- ・ 地域実態に応じた住生活の維持、向上
- ・ 空き家の再生や除却等の促進

○県営住宅の更新とあわせた地域リニューアル

- ・ 県営住宅の建替、改善の推進
- ・ 県営住宅の更新とあわせた地域拠点の再整備
- ・ 県営住宅の長寿命化対策の推進

○南部地域・東部地域等における集落づくりや移住定住への支援

- ・ 高齢者や子育て世帯向け地域優良賃貸住宅の整備
- ・ 空き家を活用した定住促進住宅の整備
- ・ 地域住民の暮らしを守る集落づくり

【基本的方向2】

道路・河川・都市公園・上下水道をはじめとする公共の施設・空間について、地域活動団体・周辺住民等との協働や市町村との連携により持続的・効率的な維持管理・整備に取り組めます。

また、県民が愛着と誇りを持つことのできる美しいまちづくりを推進するため、「きれいに暮らす奈良県スタイル」の推進を図り、「奈良県植栽計画」に基づく植栽整備や、大和川の清流復活、ごみの減量化などに取り組めます。

【具体的施策】

(2) 社会資本の効率的・効果的な維持管理の推進

< K P I >

指標名	現状値	目標値
みんなで・守ロードの団体数	98団体(H26年)	108団体(H31年)
県域水道ファシリティマネジメントに参加している市町村数	17市町村(H26年)	39市町村(H31年)
彩り花つつみ・憩いの川づくり・ボランティア支援各プログラムのサポート団体数	176団体(H26年)	197団体(H31年)

< 具体的な取組 >

○道路・河川などの公共施設において花のある空間づくりの推進

- ・地域との協働により花いっぱい運動、彩り花つつみ、憩いの川づくり活動の推進

○効率的・効果的な維持管理体制の確立

- ・社会資本の維持管理における包括管理契約の導入
- ・社会資本の維持管理におけるボランティア活動など、県民との協働の推進
- ・協定締結等による民間企業等との連携推進
- ・県民からの要望等の分析・活用の推進

○県域水道ファシリティマネジメントの推進

- ・県営水道の資産（施設、水源、技術力）を市町村水道で活用し、県域水道総資産を最適化

(3)「きれいに暮らす奈良県スタイル」構築・推進プロジェクト

①「大和川きれい化」プロジェクト

< K P I >

指標名	現状値	目標値
汚水処理人口普及率	87.5% (H26年度)	92.0% (H31年度)
下水汚泥エネルギー化率	21% (H26年度)	38% (H31年度)

< 具体的な取組 >

- 下水道及び浄化槽の整備促進
- 下水道接続及び浄化槽の適切な維持管理に係る指導の強化
- 大和川水質データ等の情報発信の拡充
- 生活排水対策等に係る啓発イベントの充実
- 河川美化活動（草刈り、清掃活動や植栽）の推進
- 大和川水質改善の推進
 - ・菰川導水管改良工事の実施
 - ・菩提川導水社会実験の実施

②「循環型社会推進 奈良モデル」プロジェクト

< K P I >

指標名	現状値	目標値
一人一日当たりのごみ排出量	634g/人・日 (H25年度)	600g/人・日 (H31年度)

< 具体的な取組 >

- 奈良モデルによるごみ処理広域化の促進
- 奈良モデルによる各市町村実施のごみ減量化・リサイクル等の促進、拡大
- 県災害廃棄物処理計画の策定及び関係団体等との連携強化
- 県・全市町村で構成する使用済家電等対策連絡会の運営

③「奈良らしい景観づくり」プロジェクト

< K P I >

指標名	現状値	目標値
奈良県植栽計画の整備着手エリア数	36箇所 (H26年度)	51箇所 (H31年度)

<具体的な取組>

- 植栽、除草、支障木伐採の強化
- 花壇、視点場、散策道の整備等の推進
- シンボルマークプレートや情報誌による、植栽計画の積極的な広報等の強化
- 広域幹線沿道における屋外広告物の規制・誘導の推進
- 市街地幹線道路や歴史的景観を保全すべき地区等における無電柱化の推進

3 安全・安心のまちづくり

【基本的方向】

水害・土砂災害・南海トラフ巨大地震等、大規模災害への備えとして、大和川流域総合治水対策の推進や広域防災拠点等の計画的な施設整備によるハード対策とあわせて、災害時に市町村・住民が適切な避難勧告・誘導が実施できるよう、国・県による適切な情報提供や避難訓練の実施などのソフト対策にも取り組みます。

また、災害が発生した際に、救援・救命を実施できる京奈和自動車道や紀伊半島アンカールート等の骨格幹線道路ネットワークや、安全安心を支える道路の整備に取り組むほか、大規模災害時における東西大動脈のリダンダンシー確保のため、リニア中央新幹線の三重・奈良ルートの建設を促進します。

さらに、分散型エネルギーの推進と地域へのエネルギーの安定供給や、社会資本の老朽化対策、防災・減災対策や効率化対策に取り組みます。

【具体的施策】

(1) 災害に強い地域づくり・強靱な県土整備の推進

① 治水対策の計画的推進

< K P I >

指標名	現状値	目標値
浸水常襲地域における減災対策実施率	50% (H26年度)	70% (H31年度)
水防情報を周知する水位観測局設置数	39箇所 (H26年度)	57箇所 (H31年度)

< 具体的な取組 >

○ 治水対策の推進

- ・ 大和川流域総合治水対策の推進
- ・ 浸水常襲地域における減災対策の推進
- ・ 河川整備計画に基づく治水対策の推進

(大和川水系)

秋篠川、布留川南流、布留川北流、菰川、地藏院川、蟹川、富雄川、竜田川、三代川、小金打川、広瀬川、葛下川、葛城川、高田川、飛鳥川、寺川、米川、曾我川、大和川の整備推進

(淀川水系)

宇陀川、山田川、町並川の整備推進

(紀の川水系)

紀の川の整備推進

(新宮川水系)

国のリーダーシップによる上下流一貫した熊野川の総合的治水対策の推進

- ・雨量・水位等水防情報提供の充実・流量情報のマネジメント
- ・浸水想定区域の見直し推進
- ・直轄による大和川遊水地の整備促進
- ・直轄による紀の川の整備促進

②土砂災害対策の計画的推進

< K P I >

指標名	現状値	目標値
土砂災害から保全される避難場所及び要配慮者利用施設等の整備箇所数	34箇所(H27事業実施箇所)	50箇所(H31年度)
土砂災害特別警戒区域等の調査・公表箇所数	86箇所(H26年度)	10,967箇所(H30年度)
土砂災害防止法に基づくハザードマップを作成・公表し、防災訓練を実施した市町村の割合	73%(H26年度)	100%(H31年度)

<具体的な取組>

○土砂災害対策の推進

- ・崩落やその兆候がある危険箇所及び防災上重要施設を保全する土砂災害対策の推進(生駒市小明町、生駒市元町、平群町櫛原、御所市林沢、桜井市黒崎、宇陀市佐倉、宇陀市下芳野ほか)
- ・土砂災害特別警戒区域の指定の推進
- ・土砂災害に対する情報提供の推進
- ・大規模土砂災害の監視・警戒・避難のシステムづくりの展開
- ・直轄による紀伊山地、亀の瀬地すべり、木津川上流地域における土砂災害対策の促進

○道路法面对策の推進

③地震に強い地域づくりの計画的推進

< K P I >

※奈良県耐震改修促進計画の見直し(H28年3月予定)に伴い目標値を改定予定

指標名	現状値	目標値
住宅の耐震化率	76%(H20年度)	90%(H27年度末)
緊急輸送道路上の橋梁の耐震化率	67%(H26年度)	80%(H31年度末)
流域下水道施設(重要施設)の耐震化率	61.0%(H26年度末)	83%(H29年度末)

<具体的な取組>

- 奈良県耐震改修促進計画に基づく耐震化施策の推進
 - ・既存木造住宅耐震診断支援事業の実施
 - ・既存木造住宅耐震改修支援事業の実施
- 橋梁の耐震対策の推進
- 下水道施設の耐震対策の推進

④自主防災活動(共助)の充実・強化

< K P I >

指標名	現状値	目標値
地域の防災活動で活躍できる人材(防災リーダー)養成数	累計1,421人(H26年度)	累計2,300人(H30年度)

<具体的な取組>

- 自主防災リーダーの育成
 - ・災害発生時の被害軽減、被災者支援及び平常時の防災意識の啓発等を担う人材を育成
- 安全・安心まちづくりアドバイザーの派遣
 - ・アドバイザーの派遣により、防災意識の普及・啓発や防災組織の活性化等を支援
- 避難所開設運営訓練の支援

⑤啓発や訓練等(自助)の実施

< K P I > 県民アンケート調査満足度は5段階評価

指標名	現状値	目標値
家庭や地域において、地震などの自然災害に対する自主的な備えができていないこと (県民アンケート調査満足度)	2.71ポイント(H26年度)	3.00ポイントを超えることを目指す(H31年度)

<具体的な取組>

- 奈良県防災の日・防災週間等における防災訓練や講演会の開催
 - ・ナラ・シェイクアウト訓練の実施
 - ・防災講演会の実施
 - ・県政出前トークによる啓発 など

⑥地域防災計画の着実な推進

< K P I > 県民アンケート調査満足度は5段階評価

指標名	現状値	目標値
地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること (県民アンケート調査満足度)	2.77ポイント(H26年度)	3.00ポイントを超えることを目指す(H31年度)

<具体的な取組>

- 市町村地域防災計画の見直し支援
- 県と市町村等が連携した災害種別訓練の実施
- 消防学校を併設した広域防災拠点の整備
- 陸上自衛隊ヘリポートを併設した駐屯地の誘致
- 県防災行政通信ネットワークの再整備
- ヘリコプター臨時離着陸場のデータベース化
- 消防の広域化に伴う消防力の充実・強化

⑦道路等基盤整備の計画的推進

< K P I >

指標名	現状値	目標値
骨格幹線道路ネットワーク(路線の線的整備箇所)の整備率(再掲)	22%(H26年度)	48%(H31年度)
京奈和自動車道(奈良県域)の整備率(再掲)	50%(H26年度)	65%(H31年度)

国道163号清滝生駒道路(奈良県域)の整備率(再掲)	0%(H26年度)	7%(H31年度)
国道168号五條新宮道路(奈良県域)の整備率(再掲)	10%(H26年度)	19%(H31年度)
市街地等幹線道路の無電柱化率(再掲)	8%(H26年度)	12%(H31年度)

<具体的な取組>

○骨格幹線道路ネットワークの形成（一部再掲）

- ・京奈和自動車道（大和北道路）、（大和御所道路 大和区間）、（大和御所道路 御所区間）、（一般部）の整備促進、国道163号清滝生駒道路の整備促進
- ・国道309号（丹生BP）、国道369号（大保道路）等の整備推進

○安全・安心を支える道路整備の推進

- ・「紀伊半島アンカールート」等の災害に強い道路整備の推進
- ・国道168号（長殿道路）、（風屋川津・宇宮原工区）、（十津川道路）の整備促進
- ・国道168号（新天辻工区）、（十津川道路Ⅱ期）、国道169号（新伯母峯トンネル）の早期事業化
- ・国道168号（阪本工区）、（辻堂BP）、（川津道路）等の整備推進
- ・赤滝五條線等役場へのアクセス道路の整備推進

○無電柱化の推進（再掲）

- ・豊浦大和八木停車場線（橿原市八木町）、橿原神宮東口停車場飛鳥線（明日香村飛鳥）、国道168号（王寺道路）、（都）奈良橿原線（油阪町～杉ヶ町）、（都）城廻り線（天理町～北郡山町）など

○リニア中央新幹線の建設促進（三重・奈良ルートの早期実現、東西大動脈輸送ルートの二重系化）（再掲）

○社会資本のアセットマネジメント

- ・道路施設の老朽化対策
- ・市町村管理道路施設の老朽化対策の推進
- ・河川管理施設（樋門、ダム）の老朽化対策の推進
- ・砂防関係施設の老朽化対策の推進
- ・下水道施設の老朽化対策の推進
- ・公営住宅等の老朽化対策の推進
- ・公園施設の老朽化対策の推進

(2) 感染症や食の安全・安心確保、消費者被害防止のための対策の推進

< K P I >

指標名	現状値	目標値
消費者啓発のための出前講座等の開催回数、参加者数	77回3,280名(H26年度)	90回3,500名(H31年度)

< 具体的な取組 >

- 保健所及び食品衛生検査所による食品衛生監視指導
- 食品の収去検査（抜き取り検査）
- 消費者に対する移動講座・出前講座の実施 など

(3) 犯罪抑止及び交通事故防止対策の推進 ※1

< K P I > ※1

指標名	現状値	目標値
刑法犯認知件数	11,140件(H26年)	1万件以下(H28年)
交通事故死亡者数	21人(H26年)	限りなくゼロ(H28年)※2

※1 安全安心に関する基本計画の策定(H29年4月予定)にあわせて改定予定

※2 具体的な数値目標については、H28年3月に策定予定の奈良県交通安全計画（第10次）において言及予定

< 具体的な取組 > ※1

- 子供、女性、高齢者が安心して暮らせる奈良の実現
- 犯罪検挙のための捜査力の強化
- 大震災等大規模災害時における警察機能の強化
(安全・安心を実感できる治安の確立)
 - ・子供・女性・高齢者の安全を確保するための取組を推進
 - ・地域の犯罪情勢に即した効果的な犯罪抑止対策を推進するとともに、パトロール等の街頭警察活動を強化
 - ・地域住民や事業者等による自主防犯活動を促進し、犯罪の起きにくい社会づくり
 - ・少年の非行防止及び保護総合対策を推進することにより、少年の健全育成
 - ・悪質商法、不法投棄等による環境破壊、違法風俗営業等に対する取締りを推進
 - ・インターネット上の違法・有害情報の取締りや、サイバー攻撃による被害の防止対策の推進

- ・ 殺人・強盗等の凶悪犯罪や、空き巣・ひったくり等の窃盗犯罪の徹底検挙
- ・ 政治・行政・経済を巡る不正事案や、振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺事件の徹底検挙
- ・ 薬物犯罪や暴力団犯罪等の組織犯罪の実態解明と徹底検挙
- ・ 国際・政治・社会情勢等を踏まえ、テロ等の未然防止に向けた取組の推進
(安全・安心で快適な交通社会の実現)
- ・ 子供や高齢者を交通事故から守るための交通安全教育等の対策を推進
- ・ 飲酒運転根絶に向けた広報啓発を推進するとともに、取締りを強化
- ・ 信号機等の交通安全施設の整備や生活道路の安全対策（ゾーン30）等を推進
- ・ 交通事故の防止につながる悪質・危険な交通違反に対する指導取締りを強化
- (県民の期待と信頼に応える警察活動の推進)
- ・ 大規模災害・突発重大事案等に迅速・的確に対応
- ・ 県民の皆様の意見・要望を踏まえて業務改善を図るとともに、苦情や相談に適切に対応
- ・ 犯罪被害者等の視点に立ったきめ細やかな被害者支援を推進
- ・ 厳正な規律の保持

(4)分散型エネルギーの推進と地域へのエネルギーの安定供給

< K P I >

※第2次エネルギービジョン策定(H28年3月予定)に伴い目標値を改定予定

指標名	現状値	目標値
再生可能エネルギーの設備容量	199,921kW(H22年度比3.5倍)(H26年度)	216,752kW(H22年度比3.8倍)(H27年度)
電力使用量	H22年度比△13.1%(H26年度)	H22年度比の5%削減を維持(H27年度)

※参考:H22年度再生可能エネルギーの設備容量57,481kW

<具体的な取組>

- 再生可能エネルギーを活用した地域の取組への支援
- 過疎地域におけるエネルギー・燃料確保対策
- 家庭・事業所等の自立分散型エネルギーの導入促進
- 地域における緊急時エネルギー確保体制の整備促進
- 熱エネルギー、未利用エネルギーの利活用推進
- エネルギーの高度利活用推進
- 「奈良の節電スタイル」の推進
- 省エネ・節電対策への支援

4 結婚から妊娠・出産、子育てまで切れ目のない支援

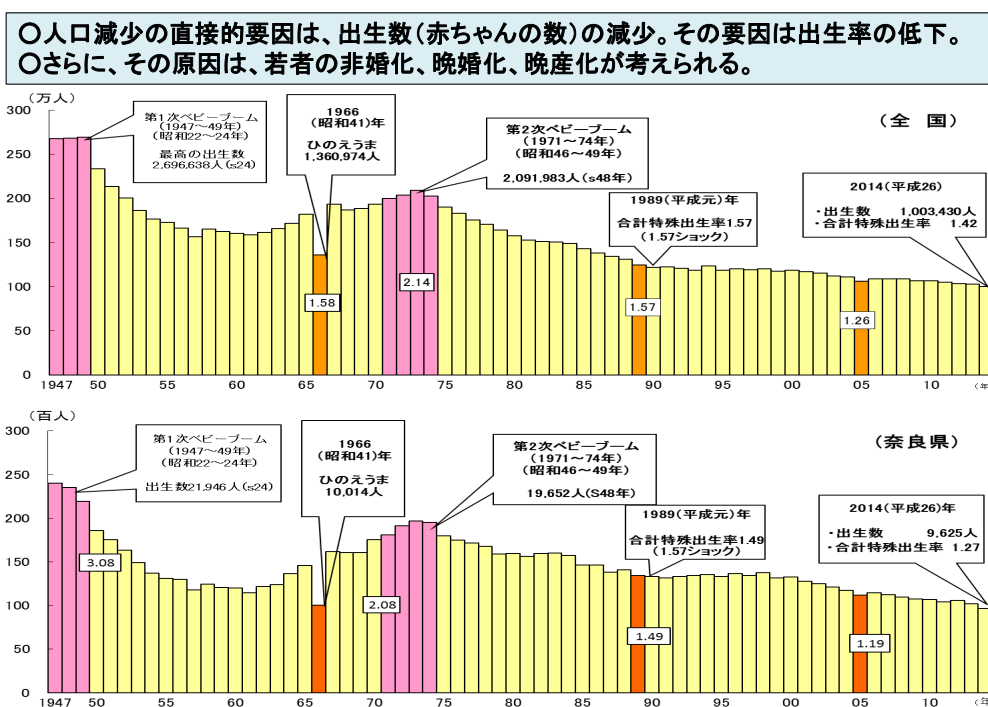
【基本的方向】

若者が、結婚や子育ての喜びや意義を理解し、その希望をかなえるための取組を行います。

また、妊娠から出産、子育て期にわたり、家庭や地域での子育て支援施策や、保健・医療・福祉・教育に関する施策を推進し、子どもたちの心豊かで健やかな育ちを実現し、子どもを貧困から守るなど、結婚、妊娠・出産、子育てをみんなで支える社会づくりを推進します。

【参考図表】

出生数及び合計特殊出生率の推移(全国・奈良県)



【具体的施策】

(1) 結婚・子育てをみんなで支える社会づくり

① 社会全体での結婚から子育てまでの切れ目のない支援

< K P I >

指標名	現状値	目標値
なら子育て応援団登録店舗数	1,759店舗(H26年度)	1,800店舗(H31年度)

< 具体的な取組 >

- 地域における結婚応援及び出会いの場づくりの推進
- 「なら子育て応援団」の拡充及び子育て応援の県民運動の展開

(2)結婚の希望の実現と次代の親の育成

①若者のしごとの安定

< K P I >

指標名	現状値	目標値
県内企業の大学卒業後就職3年目までの離職率	39.3% (H23年3月卒)	近畿平均を目指す (H26年3月卒)

※参考:近畿平均34.9%

<具体的な取組>

- 新卒者の県内就職促進とスキルアップの強化
- 新卒未就職者・離職者対策の強化
- 若年無業者の就労支援
- キャリア教育の推進・就業意識の醸成
- 地方創生奨学金制度の創設

②次代の親の育成

< K P I >

指標名	現状値	目標値
いずれは結婚しようとする20歳代の独身者の割合 (県民アンケート調査)	72.5% (H25年度)	90%以上 (H31年度)

<具体的な取組>

- 若者のライフデザインサポート形成への支援
- 思春期・青年期の妊娠・出産に関する健康教育

(3)子どもの健やかな育ちの実現

①子どもと親の健康の確保

< K P I >

指標名	現状値	目標値
乳幼児検診の受診率 (1歳6カ月児・3歳児検診)	1歳6カ月児 94.1% 3歳児 89.0% (H25年度)	1歳6ヶ月児 97.0% 3歳児 92.0% (H31年度)

<具体的な取組>

- 母性と子どもの健康の保持増進
- 子育て世代を対象とした減塩対策の推進（再掲）
- 野菜摂取促進に向けた普及啓発（再掲）
- 不妊に悩む方への特定治療費支援
- 小児2次輪番体制の整備及び小児救急電話相談事業
- 周産期医療体制の充実及び産婦人科一次救急体制の整備

②幼児期の学校教育・保育及び地域の子育て支援の推進

< K P I >

指標名	現状値	目標値
保育所入所待機児童がいる市町村	10市町村（H26年10月）	0市町村（H29年度）

<具体的な取組>

- 保育士等子育て人材の確保
- 障害児保育、延長保育及び病児保育等ニーズに対応した保育の推進
- 放課後児童クラブの設置・運営への支援

③子育てに関する多様な支援

< K P I > 県民アンケート調査満足度は5段階評価

指標名	現状値	目標値
子育てに悩んだときなどに気軽に相談できる環境が整っていること（育児期） （県民アンケート調査満足度）	3.07ポイント（H26年度）	3.50ポイント（H31年度）

<具体的な取組>

- 地域子育て支援拠点事業の普及及び充実
- 利用者支援拠点事業の普及及び充実

④人間性豊かで心身ともにたくましい子どもを育てる教育環境の整備

< K P I >

指標名	現状値	目標値
奈良県学校・地域パートナーシップ事業等実施箇所数	278箇所（H26年度）	305箇所（H31年度）
放課後子ども教室等開催日数	4,181日（H26年度）	7,000日（H31年度）

<具体的な取組>

- 「地域と共にある学校づくり」の推進
- 地域ぐるみで取り組む小・中・高等学校規範意識の醸成
- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用

⑤子どもを守り、安心して子育てできる生活環境の整備

< K P I > 県民アンケート調査満足度は5段階評価

指標名	現状値	目標値
安心して子どもを産み育てられる環境が整っていること(育児期) (県民アンケート調査満足度)	2.84ポイント(H26年度)	3.00ポイント(H31年度)

<具体的な取組>

- 良質な住宅及び良好な居住環境の確保
- 安全な道路交通環境
- 安心して外出できる環境の整備

⑥保護や支援を必要とする子どもや家庭への対応

< K P I >

指標名	現状値	目標値
里親委託中児童数	44人(H26年度)	72人(H31年度)
養育里親登録数	89件(H26年度)	159件(H31年度)

<具体的な取組>

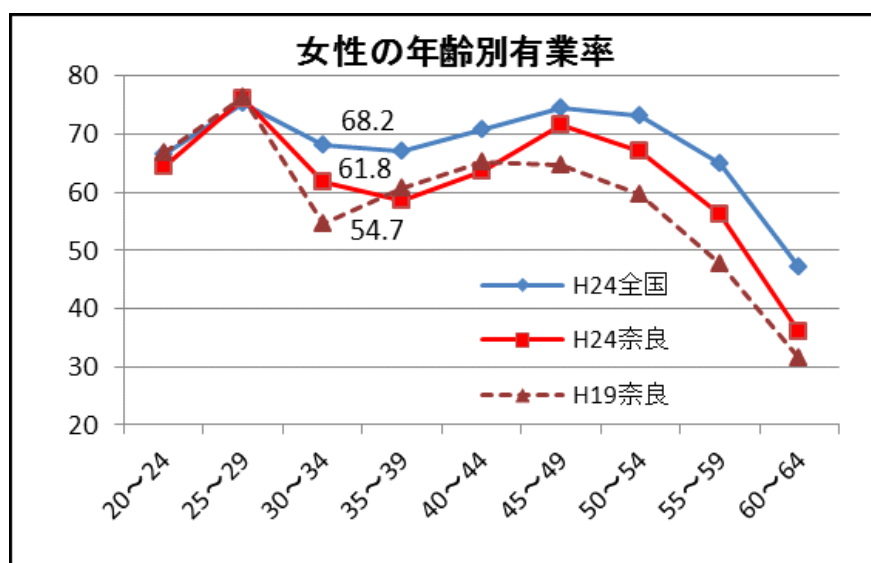
- 児童養護施設の子どもへのアフターフォローの推進
- ひとり親家庭の子どもに対する「心のケア」と「学習支援」の充実

5 女性の活躍促進、ワーク・ライフ・バランスの推進

【基本的方向】

男女がライフステージの各段階で、多様な選択肢の中から自らの道を選択し、さらに女性の持つ意欲や能力、視点、価値観などが活かされることで、男女がともに支える暮らしやすい奈良県、多様性と活力に富んだ持続可能な奈良県を創ります。このため、「(仮称)女性の輝き・活躍促進計画」として取りまとめます。

【参考図表】



平成19年と比較して平成24年の有業率は上昇し、特に30歳から34歳の年齢別有業率が回復しました。

【具体的施策】

(1) ワーク・ライフ・バランスの推進

< K P I >

指標名	現状値	目標値
奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業登録企業数	84企業 (H26年度)	110企業 (H28年度)

< 具体的な取組 >

- ワーク・ライフ・バランスの推進
 - ・ 県内事業所の研修等に講師を派遣 など
- 県内事業所の処遇改善の支援
- 働きやすい職場づくりの推進 (働き方改善への取組)

(2) 女性の就労

< K P I >

指標名	現状値	目標値
第1子出産前後の女性の継続就業率	39.6% (H25年)	55% (H31年)

< 具体的な取組 >

○「子育て女性就職相談窓口」の運営

- ・専門の相談員による就業相談
- ・求人情報・保育情報等の提供
- ・市町村への出張相談 など

○女性の就業継続支援

- ・管理職養成を目的とするキャリアアップセミナーの実施
- ・若手社員・職員を対象としたキャリア形成セミナーの実施 など

○女性の起業支援

- ・女性起業家養成セミナーの実施 など

○女性起業家・経営者の支援

- ・事業課題に関するセミナーの実施
- ・女性起業家の事例紹介
- ・個別相談会の実施
- ・女性起業家同士のネットワークづくり など

○翻訳者の育成

- ・翻訳者養成塾の開催
- ・翻訳者養成塾修了者のフォローアップ研修 など

6 学びの支援

【基本的方向】

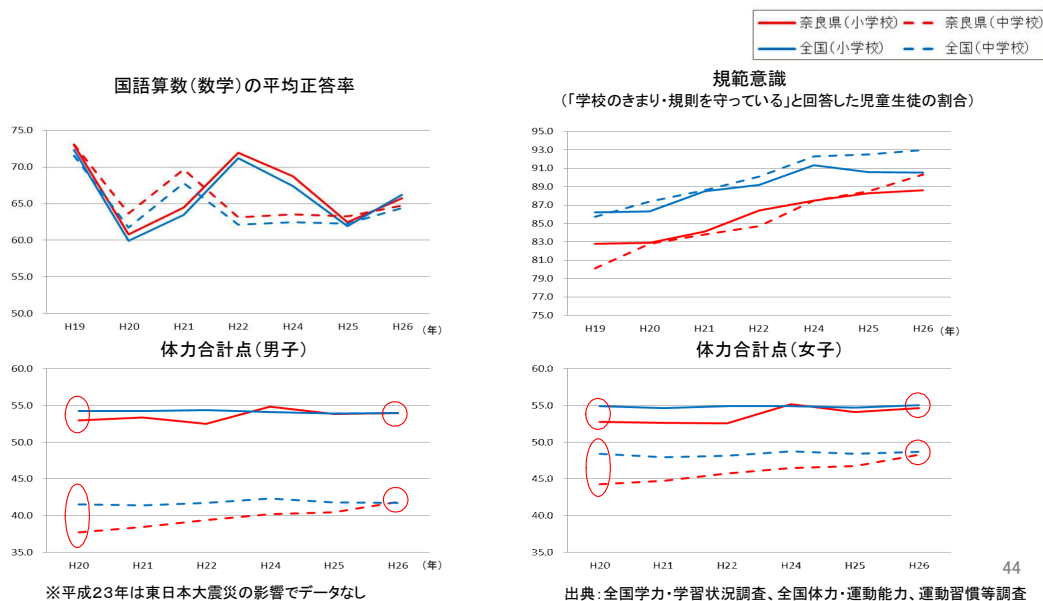
子どもの人間力を育て、社会人として親としての学びを支援し地域の教育力の充実を図ります。

また、新たに設置した総合教育会議の議論等を踏まえ、実学教育、就労教育、就学前教育も含めた本県の実情に応じた教育の振興に関する総合的な大綱を策定し、県民の学びの支援に取り組みます。

【参考図表】

小・中学生の学力、規範意識、体力の状況

- 平成26年の奈良県の国語算数(数学)の平均正答率は、全国と同水準である。
小学校・中学校ともに、規範意識は全国を下回っているが、その差は縮まってきている。
- 奈良県の体力合計点は、男女とも、平成20年には全国を下回っていたが、徐々に全国との差を狭め、平成26年は全国と同水準となっている。



【具体的施策】

(1) 家庭・地域・学校が協働して、子どもを自立した社会人に育てていくための取組の推進

① 教育大綱の体系に沿った施策の推進

< K P I >

指標名	現状値	目標値
教科の内容がよく分かる子どもの割合	小学校 国語81.4%<80.1%> 算数79.3%<79.6%> 中学校 国語69.3%<72.0%> 数学72.5%<71.5%> ※<>内は全国平均(H26年度)	全国平均以上 (H28年度)
児童生徒1,000人当たりの暴力行為発生件数	4.2件、全国平均4.3件(H25年度)	全国平均以下 (H28年度)
子どもの1週間の運動時間	小学生 男子644分<644分> 女子328分<378分> 中学校 男子992分<984分> 女子660分<690分> ※<>内は、全国10位(H26年度)	全国10位以内 (H28年度)
奈良県学校・地域パートナーシップ事業等実施箇所数(再掲)	278箇所(H26年度)	305箇所(H31年度)
放課後子ども教室等開催日数(再掲)	4,181日(H26年度)	7,000日(H31年度)

<具体的な取組>

(奈良県教育の充実)

- 総合教育会議、奈良県教育サミットの設置、運営
- 私学助成等の実施

(学力・学習意欲、規範意識・社会性、体力の向上)

- 就学前教育の推進
- 学力向上フロンティアプロジェクトの実施
- 奈良県学力・学習状況調査の実施
- 地域ぐるみで取り組む小・中・高校生社会貢献活動の実施(再掲)
- スクールカウンセラーの活用(再掲)
- 「うだ・アニマルパーク」との連携による「いのちの教育」の展開
- 人権教育資料の作成、研修講座等の開催
- 親子運動遊び教室等の開催
- 運動場芝生化の推進

(教員の資質の向上)

- 教職大学院との連携による若手教員育成研修システムの研究・開発
- ミドルリーダーの養成
- ICT活用に関する教員研修の実施、教育環境の整備

(特別支援教育の充実)

- 高等養護学校の分教室の設置

(家庭・地域の教育力の充実)

- 就学前の子どもの発達に応じた親と子の学びプロジェクトの実施
- 「地域と共にある学校づくり」の推進(再掲)

(2) ライフステージに応じた学びの支援

① ニート・ひきこもりへの自立支援

< K P I >

指標名	現状値	目標値
「ひきこもり相談窓口」相談件数	960件(H27年度見込)	1,200件以上(H31年度)

<具体的な取組>

- 「ひきこもり相談窓口」の運営・拡充
- 訪問支援・居場所の充実
- 子ども・若者支援機関研修会の開催

②子育てに関する学びの支援

< K P I >

指標名	現状値	目標値
地域子育て支援拠点事業箇所数	69箇所(H26年度)	128箇所(H31年度)

<具体的な取組>

- 地域子育て支援拠点事業の普及及び充実（再掲）
- 利用者支援専門職員養成研修
- 「なら子育て大学」「出張・なら子育て大学」の実施

③生涯学習の推進

< K P I >

指標名	現状値	目標値
県立大学におけるシニアカレッジ、公開講座の開催数、参加者数	248回のべ18,702人(H26年度)	260回のべ20,000人(H31年度)

<具体的な取組>

- 総合教育会議、奈良県教育サミットの設置、運営（再掲）
- 奈良県立大学シニアカレッジの開講

(3) 県立大学の改革の推進

< K P I >

指標名	現状値	目標値
県立大学の入学試験受験倍率	約8倍(近年の平均)	約9倍(H31年)

<具体的な取組>

- 県立大学改革の推進（少人数対話型教育（学習コモンズ制）の充実）
- ユーラシア研究センターの運営
- 奈良県立大学シニアカレッジの開講（再掲）

7 南部地域・東部地域への定住の促進

【基本的方向】

南部振興基本計画及び東部振興基本計画に基づき、農林業の振興や企業誘致などによる働く場所づくり、健康・医療・福祉・介護の充実、道路などの人命を守るための災害への備え、二地域居住・移住者を増加させるための仕組みづくりなどに取り組みます。

【参考図表】

南部地域における人口の推移

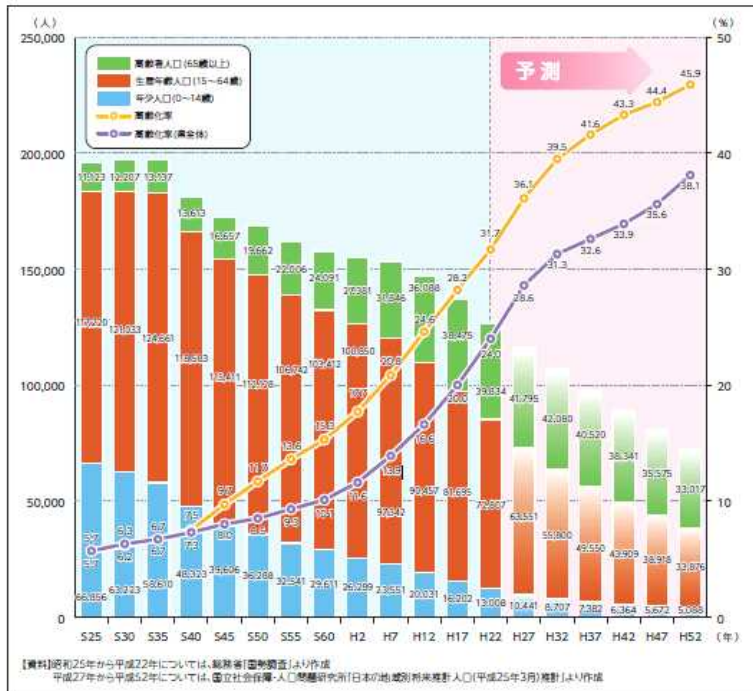
計画の対象地域

南部地域

五條市、吉野郡（吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村）

南部地域と同等の課題を抱える地域

御所市、高市郡（高取町、明日香村）



東部地域における人口の推移

計画の対象地域

東部地域

宇陀市、山辺郡（山添村）、宇陀郡（曾爾村、御杖村）



【具体的施策】

(1) 働く場所づくり

< K P I >

指標名	現状値	目標値
南部地域・東部地域人口の社会増減	南部: $\Delta 1,187$ 人 東部: $\Delta 434$ 人 (H26年)	人口の社会増減をプラスにする(H32年)

① 農産物等のブランド化・生産拡大の推進

< 具体的な取組 >

- 大和まな、大和寒熟ほうれん草など大和野菜の生産拡大による首都圏への供給拡大
- 柿や茶の高品質・付加価値化によるブランド化
- ジャムやスイーツ麺類など付加価値の高い加工食品の開発 など

② 「A・B・C材全てを出して使う」林業・木材産業の推進

< 具体的な取組 >

- 高級材だけでなく、伐採した木をすべて搬出して利用する林業の推進
- 建築用材や合板、チップなど、用途ごとに受け入れる製材・加工施設の確保
- 奈良型作業道や架線集材施設等による木材生産の拡大
- 間伐材の搬出・運搬に対する支援 など

③ 漢方のメッカ推進

< 具体的な取組 >

- 大和トウキの安定生産技術の開発
- 薬用作物活用コンソーシアムの設置 など

④ 企業誘致の推進

< 具体的な取組 >

- 御所 I C や五條北 I C 付近の産業用地への企業誘致の推進
- 廃校を活用した企業誘致の支援 など

⑤ 地域の産業興し

< 具体的な取組 >

- 在宅ビジネスやテレワークの支援
- コミュニティビジネスの推進
- 空き店舗を活用した起業の支援 など

(2)暮らしやすい地域づくり

①健康、医療、福祉、介護の充実

<具体的な取組>

- 医療・介護などが連携した地域包括ケアシステムの構築（再掲）
- 「南奈良総合医療センター」の整備（再掲） など

②教育の充実

<具体的な取組>

- 全国から生徒が集まる魅力ある高校づくり
- ICT活用に関する教員研修の実施、教育環境の整備（再掲） など

③子育ての支援

<具体的な取組>

- 地域子育て支援拠点事業の普及及び充実（再掲）
- 保育士等子育て人材の確保（再掲） など

④買い物等の支援

<具体的な取組>

- 地元スーパー等との連携による店舗づくり
- 移動販売の維持・確保 など

⑤移動手段の確保

<具体的な取組>

- 市町村のコミュニティバス等への支援（再掲）
- 地域NPOによる有償運送（買物、通院）
- 過疎地域等における基幹的な生活交通の確保（再掲） など

⑥文化の振興

<具体的な取組>

- 文化資源を活かしたイベント、展覧会等の開催 など

⑦集落の維持・活性化

<具体的な取組>

- 集落づくりや移住定住への支援（再掲）
- 空き家を活用した定住促進住宅の整備（再掲） など

(3) 災害に強いインフラの整備

<具体的な取組>

- 紀伊半島大水害の復旧の完了
- 紀伊半島アンカールート of 整備（再掲）
- 土砂災害対策の推進と山地災害の予防と復旧（一部再掲） など

(4) 移住の推進

① 二地域居住・移住を受け入れる仕組みづくり

<具体的な取組>

- 奥大和移住・定住連携協議会による情報発信
- 移住相談・移住者等交流機能の構築
- 集落単位の「地域受入協議会」の設置を支援
- 都市部での移住セミナー開催 など

② 二地域居住・移住を受け入れる拠点整備

<具体的な取組>

- 移住体験施設の整備
- シェアオフィス、チャレンジショップ等の施設整備 など

③ 移住者の働く場の確保

<具体的な取組>

- 後継者を募集する事業所等と地域で働きたい移住希望者とのマッチング
- 技術・知識修得のための研修など就業の支援
- 「地域おこし協力隊」への支援 など

基本目標2 働いて良し

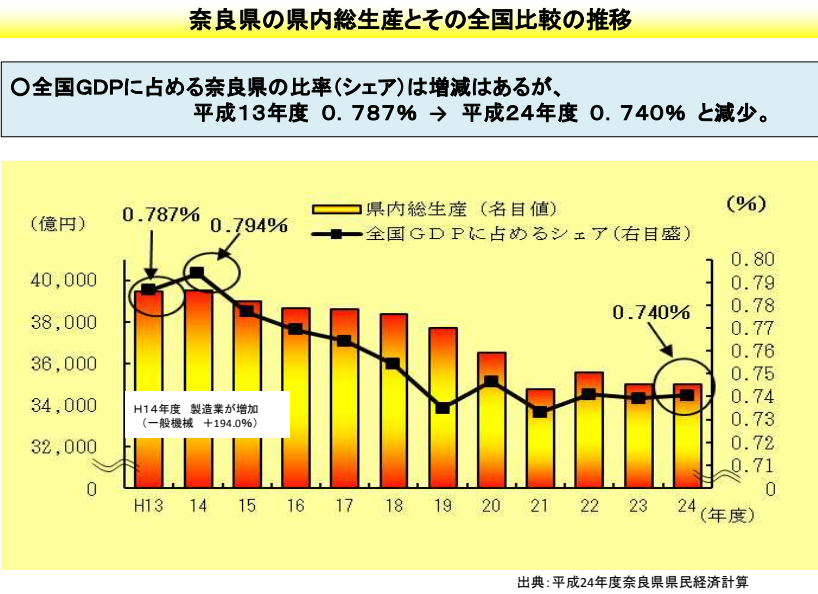
1-1 経済が県内で好循環する社会の構築

【基本的方向】

生活関連製造業、小売業、医療・介護・福祉、宿泊産業、農業、料理・飲食業、漢方、林業・木材産業、教育・文化の9つの産業分野において「産業興し」を推進することにより、本県の経済構造を力強いものに変革します。

同時に、企業誘致を積極的に進めるとともに、地域経済活動の拡大に資する京奈和自動車道の整備促進とICへのアクセス道の整備や大和川流域の総合治水対策の推進、リニア中央新幹線の三重・奈良ルート of 早期実現に向けた取組など、企業立地環境の向上に取り組み、働く場を創出します。

【参考図表】



【具体的施策】

(1) リーディング分野、チャレンジ分野における産業の育成

① 生活関連製造業における「産業興し」

< K P I >

指標名	現状値	目標値
生活関連製造品出荷額	4,342億円(H24年)	4,469億円(H31年)

< 具体的な取組 >

- クラウドファンディングを活用して新事業展開を図る企業者を支援

- 海外見本市への出展や海外販売拠点の立ち上げを支援し、県内企業者の海外展開を促進
- 自社商品のブランド化、高付加価値化を図る企業者を支援
- 県内での起業・創業を支援するためのビジネスコンテスト、創業サロン等の開催
- 研究開発推進委員会の設置及び研究開発方針の策定

②小売業における「産業興し」

< K P I >

指標名	現状値	目標値
県民1人当たり年間商品販売額	739,000円(H24年)	785,000円(H31年)

< 具体的な取組 >

- 県・市町村でのプレミアム商品券の発行(支援)による県内消費の拡大施策
- 商業施設等の集客施設の誘致や県内事業者による設置・運営の促進に向けた取組を実施
- 空き店舗を活用した起業の促進や魅力あるお店づくりの推進
- ICT技術による顧客データ分析などにより、新たな商店街の活性化施策を実施
- 奈良のお土産の発掘・開発

③医療・介護・福祉における「産業興し」

< K P I > 県民アンケート調査満足度は5段階評価

指標名	現状値	目標値
〈医療〉 ・急病時に診てもらえる医療機関があること (県民アンケート調査満足度)	〈医療〉 2.80ポイント(H26年)	〈医療〉 3.00ポイント(H31年)
〈介護・福祉〉 ・高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること(同上)	〈介護・福祉〉 2.89ポイント(H26年)	〈介護・福祉〉 3.00ポイント(H31年)
・障害者が住み慣れた地域で自分に合った支援サービスを受けられること(同上)	2.84ポイント(H26年)	3.00ポイント(H31年)
・安心して子どもを産み育てられる環境が整っていること(同上)	2.83ポイント(H26年)	3.00ポイント(H31年)

<具体的な取組>

【医療】

- 持続的で質の高い医療提供体制の整備
 - ・地域医療構想の策定及び実現
 - ・北和地域の高度医療拠点病院として県総合医療センターを全面的な立て替え整備
 - ・中南和地域の高度医療拠点病院として県立医科大学付属病院の新病棟を整備
 - ・南和地域の医療提供体制の充実に向け南奈良総合医療センター・吉野病院・五條病院の整備
 - ・重症疾患について「断らない救命救急センター」の整備
 - ・地域医療・介護連携ICTネットワークの推進 など
- 質の高い医療サービスを提供できる人材の確保・育成
 - ・医療勤務環境改善支援センターの運営
 - ・女性医師及び看護職員の復職支援
 - ・奨学金を受けていた医師の配置及びキャリア形成支援
 - ・看護師の資質向上 など

【介護・福祉】

- 介護・福祉サービス基盤の整備・充実
 - ・奈良県高齢者福祉計画及び介護保険事業支援計画の推進
 - ・地域密着型介護サービス等の普及促進
 - ・介護保険施設等の整備
 - ・障害者施設・グループホームの整備 など
- 質の高い介護・福祉サービスを提供できる人材の確保・育成
 - ・奈良県福祉・介護人材確保協議による福祉・介護人材確保の取組の推進
 - ・福祉サービス事業所等の従事者の確保と資質向上
 - ・障害者と家族を支える相談支援体制の充実
 - ・保育士人材バンクの設置・運営
 - ・保育士のキャリアデザインへの支援
 - ・子育て支援員等の養成 など

④宿泊産業における「産業興し」

< K P I >

指標名	現状値	目標値
延べ宿泊者数	227万人(H26年)	280万人(H31年)

< 具体的な取組 >

○外国人観光客の誘客・M I C Eの推進

- ・奈良県外国人観光客「奈良県猿沢イン」の整備・運営
- ・Wi-Fi環境の整備
- ・多言語コールセンター開設・多言語観光ガイドブックの作成
- ・海外観光プロモーター・着地商品コーディネーターの設置 など

○宿泊産業の育成・支援

- ・宿泊者限定プレミアムクーポンキャンペーンの実施
- ・冬期重点観光誘客キャンペーン
- ・団体旅行誘致（ファムトリップの実施、誘致活動） など

○観光情報発信

- ・首都圏情報発信プロジェクト
- ・奈良県観光キャンペーン（商品説明会、プロモーション会、レセプション）

○ホテルを核とした賑わいと交流の拠点整備

○新たな雇用やにぎわいの創出に向けた空き家・空き店舗の活用

⑤農業における「産業興し」

< K P I >

指標名	現状値	目標値
チャレンジ品目（大和野菜、サクランボ、切り花ダリア、切り花花木、有機野菜、イチジク、アユ）の生産額	18億円(H25年)	20億円(H31年)
リーディング品目（柿、キク、イチゴ、茶、大和畜産ブランド、金魚）の生産額	126億円(H25年)	134億円(H31年)

<具体的な取組>

- 品質によるブランド認証制度の創設と推進
- 水稻に代わる収益性の高い作物の導入・推進
- 奈良らしい畜産振興のあり方検討
- チャレンジ品目の生産拡大・販路開拓等
 - ・大和野菜の生産拡大
 - ・サクランボの増産とブランド化
 - ・ダリア産地の活性化
 - ・切り花花木の高品質安定生産
 - ・有機野菜等の振興
 - ・イチジクの高品質果実安定生産の支援
 - ・やまとの鮎のブランド化 など
- リーディング品目の産地競争力強化等
 - ・柿産地の競争力アップ
 - ・キクの高品質安定生産とブランド力強化
 - ・高品質安定生産の実現によるイチゴ産地の復興
 - ・味と香りの特徴を活かした大和野菜産地の復興
 - ・金魚の生産安定化 など
- 大和畜産ブランド力の強化

⑥料理・飲食業における「産業興し」

< K P I >

指標名	現状値	目標値
「専門料理店(日本料理・西洋料理・中華料理)など」の事業所数	1,236店舗(H24年)	1,292店舗(H31年)

<具体的な取組>

- 「なら食と農の魅力創造国際大学校」(N A F I C)の開校
- 東京における県産食材レストランの開設
- 奈良フードフェスティバルの開催
- JR奈良駅における農と林と食のPR
- 地産地消レストランの拡大

⑦漢方における「産業興し」

< K P I >

指標名	現状値	目標値
大和トウキの生産量	1,400kg(H22年)	12,400kg(H31年)

<具体的な取組>

- 薬用作物について、優良品種の育成、省力、安定生産技術の開発
- 薬用作物の生産振興に係る市町村等の取組に対する支援
- 農業法人等による薬用作物栽培の収益構造の検証
- 薬用作物栽培指導者の育成研修
- キハダの分布、植林可能地調査
- 県内生薬を活用した新製品の共同研究開発、海外調査
- 生薬利用商品開発意向調査、漢方のメッカ推進協議会の設置
- 薬草を活用した食への加工技術の開発
- 大和トウキの有効成分の調査、トウキ葉の安全性の試験
- 薬草や漢方薬をテーマとしたシンポジウムの開催
- 道の駅等でのPR、漢方ツアーの企画

⑧林業・木材産業における「産業興し」

< K P I >

指標名	現状値	目標値
県産材生産量	14.8万m ³ (H25年)	23万m ³ (H31年)

<具体的な取組>

- 儲かる施業予定森林を掘り起こし、森林所有者と素材生産者とをマッチング
 - ・プロジェクトチームによる集約化施業提案に基づく素材生産量の拡大
- 奈良型作業道や架線集材施設等による素材生産量の拡大
 - ・第1種木材生産林における低コスト集約化施業への支援
- 間伐材の搬出・運搬に対する支援
- A・B・C材全ての受け皿として競争力ある木材産業の構築
- ユーザーニーズに対応した新製品の開発等
- 県産材のブランド力向上
- 県産材の販路拡大
- 建築物への県産材利用の推進
- 建築物以外への県産材利用の拡大

- 木質バイオマスエネルギーの利用拡大
- 川上・川中・川下の連携

⑨教育・文化における「産業興し」

< K P I >

指標名	現状値	目標値
〈教育〉県立大学の入学試験受験倍率	約8倍(近年の平均)	約9倍(H31年)
〈文化〉文化関連支出(世帯当たりの支出金額:総務省家計調査)	全国14位(H24~H26平均23,658円)	全国10位内(H31年度)

<具体的な取組>

- 総合教育会議の運営
- 教育サミットの実施
- 県立大学改革の推進(少人数対話型教育(学習コモンズ制)の実施)
- ムジークフェストならの開催
- 奈良県大芸術祭の開催

(2) 企業誘致の推進

< K P I >

指標名	現状値	目標値
企業立地件数と企業立地に伴う雇用創出数	平成30年までの4年間で、100件の企業立地と、それに伴う1000人の雇用の場を創出	
浸水常襲地域における減災対策実施率(大和川流域)	50%(H26年度)	70%(H31年度)
水防情報を周知する水位観測局設置数	39箇所(H26年度)	57箇所(H31年度)
骨格幹線道路ネットワーク(路線の線的整備箇所)の整備率	22%(H26年度)	48%(H31年度)
京奈和自動車道(奈良県域)の整備率	50%(H26年度)	65%(H31年度)
国道163号清滝生駒道路(奈良県域)の整備率	0%(H26年度)	7%(H31年度)
国道168号五條新宮道路(奈良県域)の整備率	10%(H26年度)	19%(H31年度)

< 具体的な取組 >

- 産業用地の確保に向けた新たなプロジェクトの推進
- 本社機能移転をはじめ、研究拠点、商業・宿泊施設など総合的な誘致を推進
- 企業立地促進補助金など優遇制度の充実
- 成長分野に重点を置いた戦略的企業誘致活動の展開
- 立地企業の人材確保支援
- 情報通信業を対象にした誘致戦略を推進
- 南部地域・東部地域への企業立地を促進
- 骨格幹線道路ネットワークの形成
 - ・京奈和自動車道(大和北道路)、(大和御所道路 大和区間)、(大和御所道路 御所区間)、(一般部)の整備促進、国道163号清滝生駒道路の整備促進
 - ・(都)西九条佐保線(大宮通り～(仮称)奈良IC)・JR関西本線鉄道高架化・新駅設置、国道168号(小平尾BP)、結崎田原本線(結崎～三河工区)等の整備推進

○企業立地の支援に資する道路整備の推進

- ・産業集積地へのアクセス道路の整備推進
檀原新庄線（奥田工区）、大和高田御所線（本馬工区）等の整備推進
- ・「奈良県みんなでつくる渋滞解消プラン」に基づく渋滞対策の推進

○治水対策の推進

- ・大和川流域総合治水対策の推進
- ・浸水常襲地域における減災対策の推進
- ・河川整備計画に基づく治水対策の推進
（大和川水系）

秋篠川、布留川南流、布留川北流、菰川、地藏院川、蟹川、富雄川、竜田川、三代川、小金打川、広瀬川、葛下川、葛城川、高田川、飛鳥川、寺川、米川、曾我川、大和川の整備推進

- ・雨量・水位等水防情報提供の充実・流量情報のマネジメント
- ・浸水想定区域の見直し推進
- ・直轄による大和川遊水地の整備促進

○リニア中央新幹線の建設促進（三重・奈良ルートの早期実現、東西大動脈輸送ルートの二重系化）

○公共交通機関を利用した便利で快適なまちづくり

- ・公共交通の総合的かつ計画的な施策の推進
- ・過疎地域等における基幹的な生活交通の確保
- ・事業所が運行する施設バスと市町村が運行するコミュニティバス等の連携に関する調査検討や実証運行への支援
- ・企業誘致や宅地開発等のまちづくりに伴う市町村のコミュニティバス等のあり方に関する調査検討や実証運行への支援

○新たな雇用やにぎわいの創出に向けた空き家・空き店舗の活用（再掲）

○関係市町と協議会を設立し、協働で工業ゾーンを創出

- ・京奈和自動車道等の周辺で新たな雇用の創出を推進（工業ゾーン創出プロジェクト）

1-2 経済が県内で好循環する社会の構築(農林業)

【基本的方向】

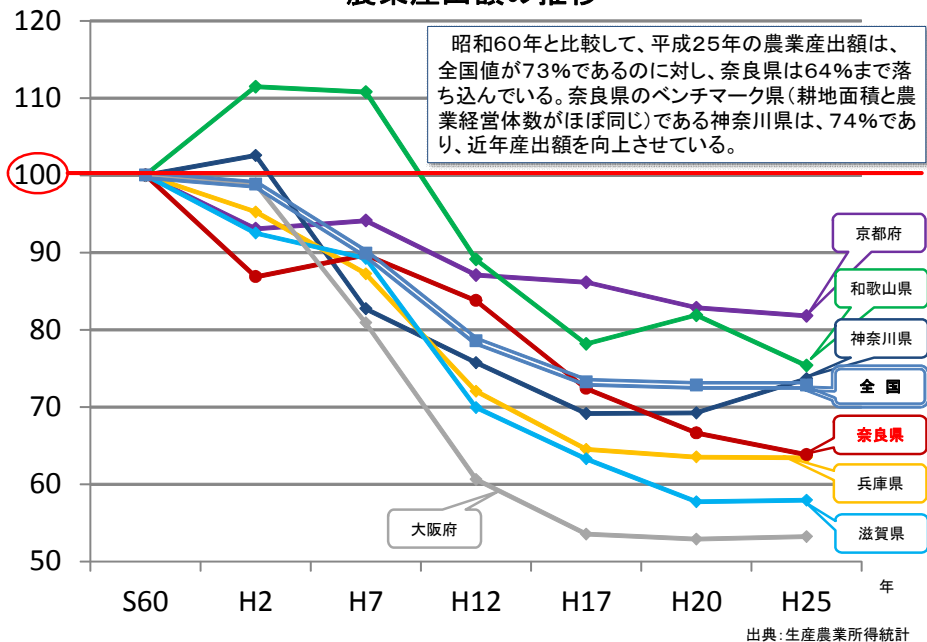
農林業では意欲ある担い手の育成を行うとともに、食と農の接続による農業の6次産業化等に取り組み、農作物のブランド化を図ります。

林業については、奈良県林業・木材産業振興プランに基づき、高級材を選んで出す林業から、材の全てを搬出して多用途に供給する林業に転換を図ります。

【参考図表・取組】

【奈良県農業の現状】

農業産出額の推移



【具体的施策】

(1) 奈良の美味しい「食」の創造と発信

① 首都圏等での販路拡大

< K P I >

指標名	現状値	目標値
首都圏での大和野菜等を取り扱う仲卸業者数	12業者 (H26年)	19業者 (H31年)

< 具体的な取組 >

- 首都圏での食と観光PRフェアの開催
- 東京での県産食材レストランの運営

- 首都圏における県産農産物評価向上支援
- 首都圏での大和野菜等販路開拓
- 食と農のプロモーション
- 海外販路開拓検討

②奈良の美味しい「食」づくり

< K P I >

指標名	現状値	目標値
県産農産物の地産地消レストラン数	－(H27年度)	20店舗増(H29年度)

※県産農産物の地産地消レストランの認定制度導入(H28年3月予定)

<具体的な取組>

- 奈良フードフェスティバルの開催
- 学校給食における地産地消の促進
- 奈良の特産品の多言語プロモーションビデオの作成
- 6次産業化の推進・支援
- レストランでの新たなメニュー開発支援
- 魅力ある商品開発
- 県産農産物の家庭での活用促進

(2)マーケティング・コスト戦略に基づく県産農産物の振興

< K P I >

指標名	現状値	目標値
チャレンジ品目(大和野菜、サクランボ、切り花ダリア、切り花花木、有機野菜、イチジク、アユ)の生産額(再掲)	18億円(H25年)	20億円(H31年)
リーディング品目(柿、キク、イチゴ、茶、大和畜産ブランド、金魚)の生産額(再掲)	126億円(H25年)	134億円(H31年)

<具体的な取組>

- 品質によるブランド認証制度の創設と推進(再掲)
- 水稻に代わる収益性の高い作物の導入・推進(再掲)
- 奈良らしい畜産振興のあり方検討(再掲)
- チャレンジ品目の生産拡大・販路開拓等(再掲)

- ・大和野菜の生産拡大
 - ・サクランボの増産とブランド化
 - ・ダリア産地の活性化
 - ・切り花花木の高品質安定生産
 - ・有機野菜等の振興
 - ・イチジクの高品質果実安定生産の支援
 - ・やまとの鮎のブランド化 など
- リーディング品目の産地競争力強化等（再掲）
- ・柿産地の競争力アップ
 - ・キクの高品質安定生産とブランド力強化
 - ・高品質安定生産の実現によるイチゴ産地の復興
 - ・味と香りの特徴を活かした大和野菜産地の復興
 - ・金魚の生産安定化 など
- 大和畜産ブランド力の強化（再掲）

（3）意欲ある担い手の育成・確保と農地マネジメントの推進

< K P I >

指標名	現状値	目標値
新規就農者数(雇用就農を除く)	32名／年(H26年)	60名／年(H31年)
新規農業法人数	8法人／年(H26年)	10法人／年(H31年)
担い手への農地集積率	12.2%(H26年)	24%(H31年)

< 具体的な取組 >

- 新規就農者等への支援
 - ・実践研修及び就農後のフォローアップ
 - ・農業就農意欲の喚起と就農後の定着支援
 - ・「なら食と農の魅力創造国際大学校」(N A F I C)の開校と担い手の養成（一部再掲） など
- 農業経営に意欲ある担い手の育成・確保
 - ・農業経営に対する支援
 - ・地域の中心経営体への支援
 - ・高齢者等の人材を活用した労働力確保
 - ・女性の農業参入支援 など
- 多様な担い手の育成
 - ・障害者の農業就労の促進
 - ・シニア世代の農業参入に対する支援 など

- 農地マネジメントの推進と農地の有効活用への支援
 - ・農地マネジメントの検討、実施
 - ・担い手への農地の集積
 - ・農地の有効活用への支援
 - ・農地マネジメントに向けた農地等の基礎資料の整備 など

(4) 地域資源を活用した農村地域の活性化

< K P I >

指標名	現状値	目標値
地域づくり協議会への参加集落数	17集落(H26年)	25集落(H31年)

< 具体的な取組 >

- 農産物等を活用した地域産業の振興
 - ・薬用作物の生産振興
 - ・柿葉生産ビジネスの推進 など
- 農村資源を活用したにぎわいの創出
 - ・農村資源を活用した地域づくり
 - ・農村周遊自転車ルート of 整備
 - ・「なら食と農の魅力創造国際大学校」(N A F I C) を核とした賑わいづくり
 - ・地域の特色ある「食」と「農」を活かした宿泊施設等の整備とその施設のネットワーク化(ぐるっとオーベルジュ)の推進 など
- 農村資源の持続的な活用
 - ・農村資源を活用した再生可能エネルギーの利活用
 - ・ため池、水田を活用した貯留対策の推進
 - ・農業水利施設の長寿命化の推進
 - ・農業・農村の多面的機能の維持・発揮活動への支援 など
- 農村資源情報の発信
 - ・ならグリーンツーリズムHPでの情報発信
 - ・冊子を活用した情報提供 など
- 総合的な鳥獣被害防止対策の推進

(5) A・B・C材全てを搬出して多用途に供給する林業への転換

< K P I >

指標名	現状値	目標値
県産材生産量（再掲）	14.8万m ³ (H25年)	23万m ³ (H31年)

< 具体的な取組 >

- 儲かる施業予定森林を掘り起こし、森林所有者と素材生産者とをマッチング（再掲）
 - ・プロジェクトチームによる集約化施業提案に基づく素材生産量の拡大など
- 奈良型作業道や架線集材施設等による素材生産量の拡大（再掲）
 - ・第1種木材生産林における低コスト集約化施業への支援 など
- 間伐材の搬出・運搬に対する支援（再掲）

(6) A・B・C材毎の受け皿の確保及び県産材製品の安定流通の実現

< K P I >

指標名	現状値	目標値
A材の生産量	129千m ³ (H25年)	148千m ³ (H32年)
B材の生産量	8千m ³ (H25年)	44千m ³ (H32年)
C材の生産量	11千m ³ (H25年)	58千m ³ (H32年)

< 具体的な取組 >

- A・B・C材全ての受け皿として競争力ある木材産業の構築（再掲）
- ユーザーニーズに対応した新製品の開発等（再掲）
- 県産材のブランド力向上（再掲）
- 県産材の販路拡大（再掲）
- 建築物への県産材利用の推進（再掲）
- 建築物以外への県産材利用の拡大（再掲）
- 木質バイオマスエネルギーの利用拡大（再掲）
- 川上・川中・川下の連携（再掲）

(7) 森林環境の適切な保全と森林を活用した地域づくり

< K P I >

指標名	現状値	目標値
施業放置林整備面積	3,539ha (H23～H26年度累計)	3,500ha (H28～H32年度累計)
里山づくり整備箇所数	99カ所 (H23～H26年度累計)	125カ所 (H28～H32年度累計)
多面的機能を持った森林整備面積	65,151ha (H27年)	67,115ha (H34年)
有害獣であるニホンジカの年間捕獲頭数	6,423頭 (H24年)	8,000頭 (H29年)
山と森林の月間イベント件数	107件 (H26年)	100件以上 (H32年)
森林環境教育の指導者育成数	13人 (H26年)	50人 (H28～H32年累計)
(参考) 平成28年度までに森林環境管理制度を導入		

< 具体的な取組 >

- 森林環境管理制度の導入
- 「環境保全林」の整備・保全推進
 - ・ 施業放置林の整備
 - ・ 森林生態系の保全・野生鳥獣被害防止対策の推進
 - ・ 災害に強い森林づくりに向けた検討
- 森林の活用推進
 - ・ 里山づくりの推進
 - ・ 森林環境の学習・教育の推進
- 林業振興のための基盤整備
 - ・ 山地災害の予防と復旧
 - ・ 基幹となる林道の整備

2 奈良でのしごとの場の創生

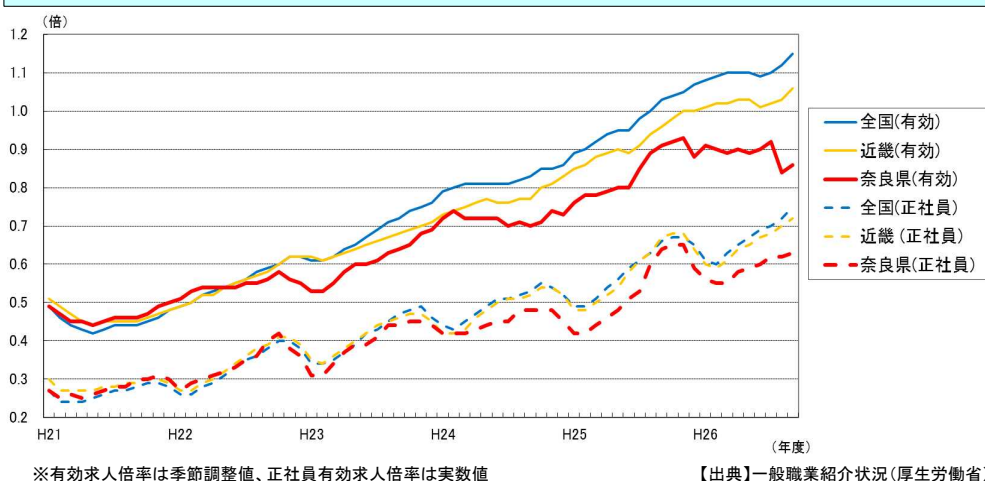
【基本的方向】

起業家の発掘や意欲ある起業家の事業化支援に取り組むことにより、県内でしごとの場をつくります。また、求人求職のマッチング支援強化、働き方の改善、ワーク・ライフ・バランスの推進、女性の就労支援、大学生や高校生へのキャリア教育の充実、障害者の働く場の創出など、働く意欲をもつすべての人々が、希望する働き方が可能となるしごと環境の実現を目指します。

【参考図表】

有効求人倍率と正社員有効求人倍率(全国・近畿・奈良県)

○全国、近畿の有効求人倍率は全般的に改善しているが、奈良県は平成25年に入って上昇したものの平成26年3月には15ヵ月ぶりに低下。その後ほぼ横ばいで推移し、11月に再度低下している。
○奈良県の正社員有効求人倍率は全国、近畿と同様に改善傾向にあり、平成26年3月に一旦低下したが、7月から再度上昇している。



【具体的施策】

(1) 企業誘致の推進(企業立地促進による雇用の場の確保)

< K P I >

指標名	現状値	目標値
企業立地件数と企業立地に伴う雇用創出数(再掲)	平成30年までの4年間で、100件の企業立地と、それに伴う1000人の雇用の場を創出	

< 具体的な取組 >

○産業用地の確保に向けた新たなプロジェクトの推進(再掲)

- 本社機能移転をはじめ、研究拠点、商業・宿泊施設など総合的な誘致を推進（再掲）
- 企業立地促進補助金など優遇制度の充実（再掲）
- 成長分野に重点を置いた戦略的企業誘致活動の展開（再掲）
- 立地企業の人材確保支援（再掲）
- 情報通信業を対象にした誘致戦略を推進（再掲）
- 南部地域・東部地域への企業立地を促進（再掲）
- 関係市町と協議会を設立し、協働で工業ゾーンを創出（再掲）
 - ・京奈和自動車道等の周辺で新たな雇用の創出を推進（工業ゾーン創出プロジェクト）
- 新たな雇用やにぎわいの創出に向けた空き家・空き店舗の活用（再掲）

（２）求人・求職のマッチングの充実としごとの創出

< K P I >

指標名	現状値	目標値
無料職業紹介登録者、ジョブカフェ登録者の就職率	49%（H26年度）	63%（H31年度）
職業訓練修了者の就職率	90%（H26年度）	92%（H31年度）

< 具体的な取組 >

- 雇用の掘り起こしとマッチング支援（県内就労あっせん・起業支援センター、しごとiセンターによる職業紹介の実施）
- 高齢者のしごと創出（就労支援・起業支援）
- 職業キャリア形成の支援
- 女性の就労支援（再就職支援・就業継続支援・起業支援）
- 障害者雇用の促進
- 出所者等の更正に向けた就労促進

（３）これからの奈良を支える若者への就労支援と就業意識の醸成

< K P I >

指標名	現状値	目標値
県内企業の大学卒業後就職3年目までの離職率	39.3%（H23年3月卒）	近畿平均を目指す（H26年3月卒）

※参考：近畿平均34.9%

<具体的な取組>

- 新卒者の県内就職促進とスキルアップの強化
- 新卒未就職者・離職者対策の強化
- 若年無業者の就労支援
- キャリア教育の推進・就業意識の醸成
- 地方創生奨学金制度の創設

(4)働きやすい職場づくりを進めるとともに、ワーク・ライフ・バランスを推進

< K P I >

指標名	現状値	目標値
奈良県社員・シャイン職場づくり 推進企業登録企業数	84企業(H26年度)	110企業(H28年度)

<具体的な取組>

- 県内事業所の処遇改善の支援
- 働きやすい職場づくりの推進（働き方改善への取組）
- ワーク・ライフ・バランスの推進

基本目標3 訪れてよし

1 奈良で宿泊する周遊型観光の推進

【基本的方向】

奈良公園、県庁周辺から、県営プール跡地、平城宮跡周辺までを一体的に整備する「大宮通りプロジェクト」をはじめとして地域資源を活用した観光基盤の整備とイベント等の実施によるにぎわいづくりを行うとともに、宿泊・休憩施設の整備やおもてなし環境の向上、奥深い奈良の魅力の発信、奈良オリジナルの着地型旅行商品の造成などに取り組み、観光地奈良の魅力を飛躍的に向上させ、県内での宿泊客の増加を図ります。

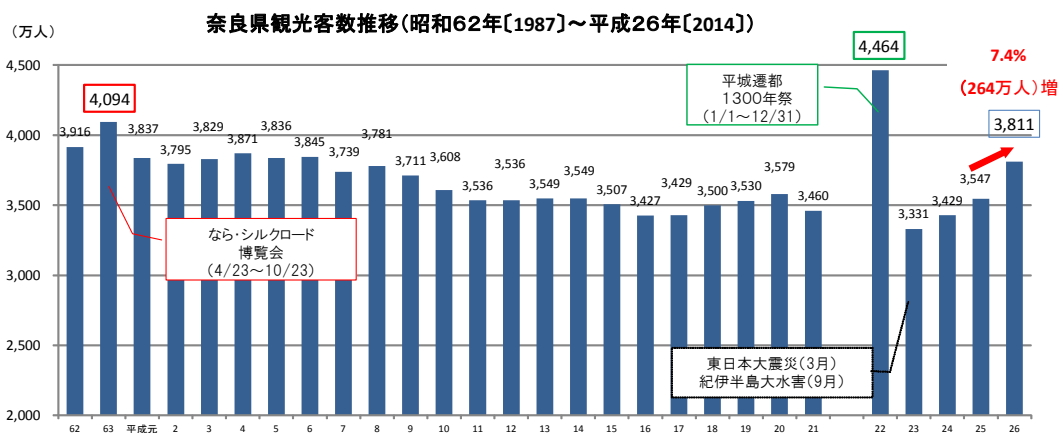
あわせて、奈良県を訪問する外国人観光客を増やすため、海外に向けたプロモーション及び情報発信の強化に取り組みます。

また、交流人口と消費の拡大を図るため、京奈和自動車道やICへのアクセス道路の整備、京都から和歌山を結ぶ（仮称）京奈和自転車の整備や、わかりやすい案内サインの充実により様々な交通手段で訪れる来訪者の移動環境の向上を図ります。

【参考図表】

(1) 奈良県への観光入込客数(日帰り+宿泊観光客数・延人数)

- 奈良県の観光客数は、概ね3,500~4,000万人で推移。
- 大規模イベントのあったS63年、H22年は4,000万人を超える。

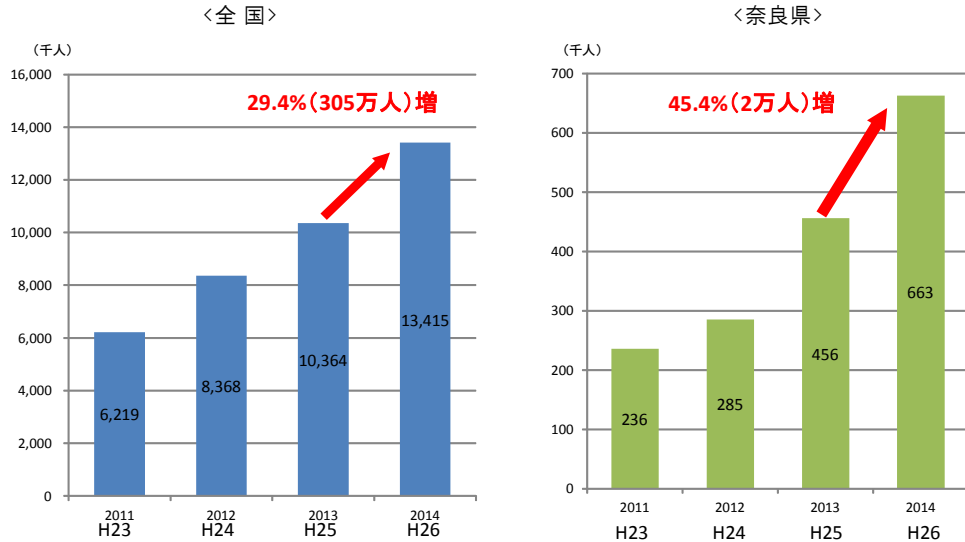


平成22年4月から観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に準拠し推計。それまでの各県独自の推計方法による調査から、観光地点の定義、調査方法等について全国統一の基準を採用し、他府県との比較が可能となった。従前は、地域ごとに入込客数の伸び率を算出し前年の数値に乘じる方法だったが、現在は観光地点やイベントごとの入込客数を調査、集計する方法に変更。

出典：奈良県観光客動態調査

(2) 外国人訪問客数の推移(全国・奈良県)

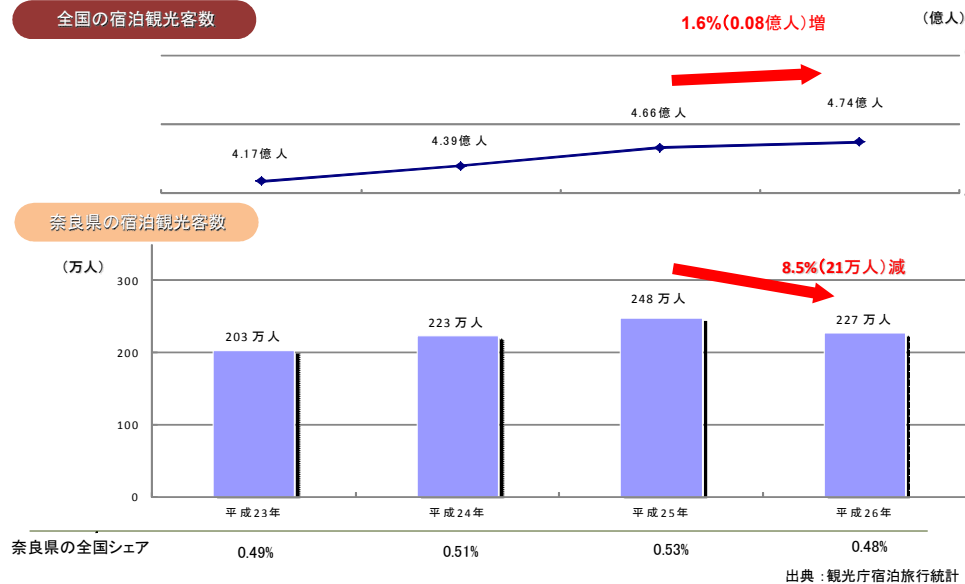
○外国人訪問客数は、全国、奈良県ともに増加傾向にある。特に奈良県の対前年比(H25→H26)は、45.4%と全国の29.4%を大幅に上回っている。



訪日客数: JNTO(日本政府観光局)による「訪日外客数」 奈良県訪問客数: 「訪日客数」×「訪問率」による推計
 訪問率: 2011年3月までは、JNTO「訪日外客訪問地調査」による訪問率。2012年4月以降は、観光庁「訪日外客消費動向調査」による訪問率
 (2011年の通年訪問率は、両訪問率を用いて、奈良県が計算)

(3) 奈良県への宿泊観光客数(年間)

○宿泊観光客数の対前年比(H25→H26)は、全国では1.6%増となっているが、奈良県は8.5%の減となっている。



【具体的施策】

(1) 意欲ある観光関連事業者とともに、観光産業の活性化やおもてなし環境の充実を図り、奈良で宿泊する周遊型観光を推進

< K P I >

指標名	現状値	目標値
延べ宿泊者数	227万人(H26年)	280万人(H31年)

< 具体的な取組 >

○宿泊産業の育成・支援、観光情報発信

- ・ 宿泊者限定プレミアムクーポンキャンペーンの実施
- ・ Webを活用した誘客プロモーション
- ・ 団体旅行誘致（ファミトリップの実施、誘致活動）
- ・ 修学旅行誘致（事前学習ツール作成、誘致活動等）
- ・ 宿泊観光誘客強化・支援（団体旅行バス補助金）
- ・ 多様な宿泊施設の創出と宿泊施設の新たな魅力づくりを総合的に支援（融資制度等）
- ・ 農家民宿への支援

○旅行商品の造成・販売

○ホテルを核とした賑わいと交流の拠点整備

○奈良の美味しい「食」づくり

- ・ 奈良フードフェスティバルの開催
- ・ 眺望のいいレストランの認定・支援
- ・ 奈良の特産品の多言語プロモーションビデオの作成

○魅力ある「奈良の土産物」の創出・発掘・発信

- ・ 奈良の土産物支援の推進

○記紀・万葉プロジェクトの推進

○祈りの回廊～秘宝・秘仏の特別開帳の推進

○奈良盆地周遊型ウォークルートの造成

○中南和の魅力振興

- ・ 周遊観光の利便性を高める道路整備の推進

○南部・東部地域の魅力発信

- ・ 雑誌、Web、映像等による情報発信
- ・ 三重県、和歌山県と連携した「吉野・高野・熊野の国」の展開
- ・ 「弘法大使の道」を活用したトレイルランニングイベントの開催支援など

- まちをきれいにする取組の推進
 - ・奈良の景観づくりの推進 など
- 自転車を活用した取組の推進

(2) 旅行商品づくりやイベント充実により、宿泊オフシーズンを解消

< K P I >

指標名	現状値	目標値
オフシーズン延べ宿泊者数	73万人(H26年)	105万人(H31年)

< 具体的な取組 >

- 冬期重点観光誘客キャンペーン
- 宿泊者限定プレミアムクーポンキャンペーンの実施（再掲）
- 旅行商品の造成・販売（再掲）
- オフシーズンにおける誘客促進
 - ・奈良県観光キャンペーン「奈良うまし夏めぐり」・「奈良うまし冬めぐり」の実施
 - ・首都圏における観光キャンペーンの実施（春・秋） など
- 奈良だからこそできる音楽祭の開催
 - ・ムジークフェストならの開催
- スポーツツーリズムの推進
 - ・奈良マラソンの開催による国内外からの誘客促進
 - ・全国高校ラグビー大会出場校選手等の県内への宿泊誘致 など
- オフシーズンにおけるイベントの実施
 - ・奈良県冬季誘客イベント「大立山まつり」を開催
 - ・「なら燈花会」「なら瑠璃絵」の実施 など
- 路線バスキャッシュバックキャンペーンの実施

(3) ターゲットを明確にし、奈良の魅力を効果的に発信し、国内からの観光客及びコンベンションの誘致を推進

< K P I >

指標名	現状値	目標値
観光入込客数	3,811万人(H26年)	4,200万人(H31年)

<具体的な取組>

○首都圏等からの誘客の促進

- ・首都圏での交通メディアを活用した奈良の魅力の情報発信
- ・世界最大級の旅行博「ツーリズムEXPOジャパン」への出展
- ・旅行雑誌・女性誌での奈良の魅力の情報発信
- ・首都圏百貨店での観光情報の発信
- ・奈良県観光キャンペーン「奈良うまし夏めぐり」・「奈良うまし冬めぐり」の実施（再掲）
- ・首都圏における観光キャンペーンの実施（春・秋）（再掲）
- ・奈良まほろば館での観光情報の発信
- ・地方都市連携観光プロモーション推進 など

○多彩なツールを利用した情報発信

- ・デジタルサイネージ等による旬の観光情報の発信
- ・Webサイト、SNS等による観光情報の発信
- ・案内板の整備
- ・ドライバー向けの周遊観光情報の提供 など

○中南和・東部地域の観光情報発信

- ・まほろばキッチン内観光案内所等による中南和・東部地域の観光情報の発信
- ・中南和の魅力振興（雑誌、Web、映像等による情報発信等） など

○社寺の奥深い魅力の情報発信

○県内の魅力あるウォークルートを紹介する「歩く・なら」の推進

○記紀・万葉プロジェクトの推進（再掲）

○国内コンベンションの誘致

○奈良らしいグリーンツーリズムの情報発信

(4) 観光振興に寄与する基盤整備と地域資源を活用したにぎわいづくり

< K P I >

指標名	現状値	目標値
観光入込客数(再掲)	3,811万人(H26年)	4,200万人(H31年)
骨格幹線道路ネットワーク(路線の線的整備箇所)の整備率	22%(H26年度)	48%(H31年度)
京奈和自動車道(奈良県域)の整備率	50%(H26年度)	65%(H31年度)
国道163号清滝生駒道路(奈良県域)の整備率	0%(H26年度)	7%(H31年度)

国道168号五條新宮道路(奈良県 域)の整備率	10%(H26年度)	19%(H31年度)
市街地等幹線道路の無電柱化率	8%(H26年度)	12%(H31年度)

<具体的な取組>

○骨格幹線道路ネットワークの形成

- ・京奈和自動車道(大和北道路)、(大和御所道路 大和区間)、(大和御所道路 御所区間)、(一般部)の整備促進
- ・国道163号清滝生駒道路の整備促進
- ・(都)西九条佐保線(大宮通り～(仮称)奈良IC)・JR関西本線鉄道高架化・新駅設置の整備推進
- ・国道168号(長殿道路)、(風屋川津・宇宮原工区)、(十津川道路)の整備促進
- ・国道168号(新天辻工区)、(十津川Ⅱ期)、国道169号(新伯母峯トンネル)の早期事業化
- ・国道168号(阪本工区)、(辻堂BP)、(川津道路)の整備推進
- ・国道309号(丹生BP)、県道桜井吉野線(百市工区)、国道169号(高取BP)等の整備推進

○観光振興に資する道路整備の推進

- ・橿原神宮東口停車場飛鳥線(石川～和田工区)、橿羅御所線(橿羅工区)、高野天川線等の整備推進
- ・「奈良県みんなでつくる渋滞解消プラン」に基づく渋滞対策の推進
- ・無電柱化の推進
豊浦大和八木停車場線(橿原市八木町)、橿原神宮東口停車場飛鳥線(明日香村飛鳥)、国道168号(王寺道路)、(都)奈良橿原線(油阪町～杉ヶ町)など
- ・道の駅の整備
国道166号(道の駅宇陀路大宇陀)など

○公共交通機関を利用した便利で快適なまちづくり

○リニア中央新幹線の建設促進(三重・奈良ルートの早期実現、東西大動脈輸送ルートの二重系化)

○大宮通りを軸とした観光拠点施設の整備

- ・奈良公園基本戦略に基づく事業の推進
- ・地域活性化総合特区指定による奈良公園エリアの更なる魅力向上
- ・県庁周辺、ホテルを核とした賑わいと交流の拠点の整備
- ・平城宮跡歴史公園の整備推進
- ・平城宮跡のにぎわいづくりの実施

○奈良の魅力を一層高める交通環境の充実

- ・ぐるっとバスの運行（奈良公園ルート、平城宮跡ルート）
- ・市街地郊外の駐車場を用いたパークアンドライド（国道24号高架下駐車場）
- ・登大路駐車場のターミナル化
- ・大宮通りの修景整備
- ・ドライバー向けの周遊観光情報の提供（再掲）
- ・広域的な自転車利用ネットワークの整備推進（（仮称）京奈和自転車道の整備推進）
- ・観光案内サインの充実（奈良公園周辺、大宮通り、飛鳥周辺等）

○来県者をもてなす良好な河川空間を確保し、きれいなまちづくりを推進

- ・良好な河川空間確保のための重点除草の実施
- ・水辺空間（河川、ダム）の景観向上、奈良の河川彩りづくり（植栽計画）
- ・河川美化活動の促進
- ・河川沿いの遊歩道整備と憩える広場整備
宇陀川・芳野川(宇陀市下井足ほか)、三代川(斑鳩町興留) など

（5）海外に向けたプロモーション及び情報発信を推進するとともに、外国人観光客の受け入れ・おもてなし環境を充実

< K P I >

指標名	現状値	目標値
奈良に宿泊する外国人数	15万人(H26年)	33万人(H31年)

< 具体的な取組 >

○外国人観光客向けの新たな情報発信・交流拠点の整備

- ・奈良県外国人観光客交流館「奈良県猿沢イン」の整備・運営
- ・外国人向けバスの運行

○外国人観光客向けの受け入れ・おもてなし環境の整備

- ・外国人観光客おもてなしイベントの開催
- ・多言語案内表示の推進
- ・多言語コールセンターの運営
- ・Wi-Fiスポットの設置推進
- ・各種イベントにおける外国人向けパンフレット等の作成
- ・レベルの高い通訳ガイド等の育成・活用
- ・レベルの高いおもてなし対応人材の育成
- ・外国人観光客向け観光情報ツールの作成

- 官民一体となった外国人観光客の誘致
 - ・ ビジット・ジャパン事業を活用した海外プロモーションの展開
 - ・ 海外観光レップ・着地オペレーターによる海外からの誘客
 - ・ 外国人富裕層市場の開拓
 - ・ 訪日教育旅行の推進 など
- 多様な媒体を活用した海外に向けた情報発信
 - ・ 海外旅行会社等の広報媒体を活用した情報発信
 - ・ SNS等を活用した情報発信 など
- 積極的なMICE誘致の推進
 - ・ 官民連携による国際会議等の誘致推進
 - ・ 世界観光機関（UNWTO）アジア太平洋センターとの連携 など
- 友好提携先等と連携した国際交流の促進
- 外国人留学生の支援・連携
 - ・ 外国人留学生への支援
 - ・ 外国人留学生による情報発信 など
- ホテルを核とした賑わいと交流の拠点整備（再掲）

2 文化やスポーツで地域の魅力を向上

【基本的方向】

文化資源を活かした地域活性化を進めるとともに、質の高い文化芸術イベントを開催し、平成29年の「国民文化祭」を成功させることで、本県の文化力を大きく発信します。このため、「奈良県文化振興大綱」の策定を行います。また、「文化芸術立国」に向けた先駆的な拠点（文化資源の活用等の拠点）として奈良県国際芸術家村の整備を進めます。

さらに、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、トップアスリート育成の拠点となる奈良県トレーニングセンターの整備を進めるとともに、「だれもが、いつでも、どこでも楽しめる」、「地域で楽しむ」、「あこがれ・感動を生む」といった視点でスポーツ環境づくりに取り組めます。

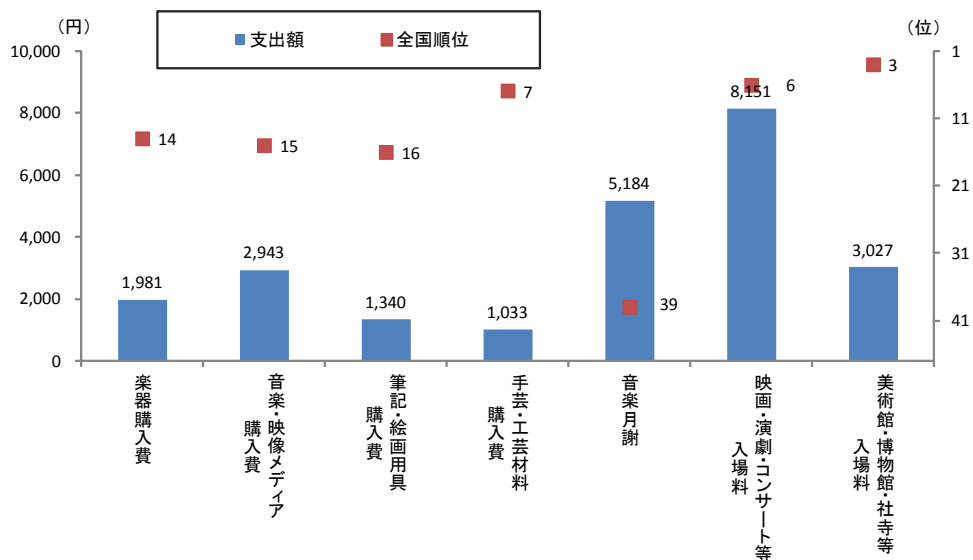
これらの地域の魅力向上の拠点として、都市公園の管理・活用・整備の取組を進めます。

【参考図表】

文化

家計支出にみる文化活動の状況 (都道府県庁所在地、二人以上の世帯)

○奈良県の家計支出にみる文化活動の状況は、映画・演劇・コンサート等入場料への支出が最も高い。また、美術館・博物館・社寺等入場料への支出は全国3位となっている。

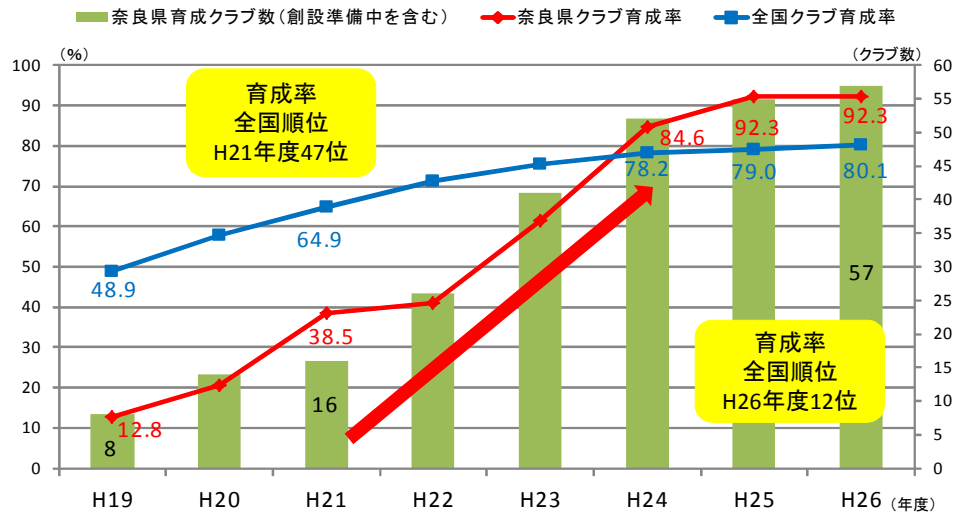


出典：家計調査（H23～25年平均）

スポーツ

総合型地域スポーツクラブ育成状況の推移

○奈良県の総合型地域スポーツクラブ育成率は、平成19年度から大幅に上昇しており、平成26年度は92.3%と、全国クラブ育成率80.1%を大幅に上回っている。



【具体的施策】

(1) 質の高い文化芸術を活用した、奈良の文化力の向上

- ①奈良だからこそできる音楽祭の開催
- ②上質な芸術文化に触れる機会の提供

< K P I >

指標名	現状値	目標値
ムジークフェストならの周知度 (県民アンケート調査)	21.9%(H26年度)	50%以上(H31年度)

< 具体的な取組 >

- ムジークフェストならの開催(再掲)
- 県立ジュニアオーケストラの活動
- 奈良・町家の芸術はならあとの開催

(2) 文化芸術への参加、鑑賞の機会拡大による活動の裾野の拡大

- ①文化芸術団体や個人が行う発表の場の拡充
- ②文化芸術団体等への支援の拡充・強化

< K P I >

指標名	現状値	目標値
奈良県大芸術祭の来場者数	97万人(H26年度)	115万人(H31年度)

<具体的な取組>

- 奈良県大芸術祭の開催
- 奈良県美術展覧会の開催
- 新たな文化活動チャレンジ補助金
- 県庁星空コンサートの開催

(3)文化資源を活用した地域活性化

< K P I >

指標名	現状値	目標値
美術館・博物館・社寺等文化施設 入場料(世帯当たりの支出金額)	全国3位(H24~H26年平均3,027円)	全国1位(H31年)
県立文化施設の来訪者数	1,318千人(H25年度)	1,355千人(H31年度)

<具体的な取組>

- 文化資源のデータベース構築
- 文化資源の整備・活用
- 県内古文書の翻刻、公開
- 文化資源の情報発信の強化
- 文化資源の国際展開
- 文化資源に関わる地域交流・人材育成
- 奈良県国際芸術家村の整備(「文化芸術立国」に向けた先駆的な施設整備)
- 文化資源を活かしたイベント、展覧会等の開催
- NHK大河ドラマの誘致
- 文化施設の充実・強化

(4)だれもが、いつでも運動・スポーツを楽しめる環境づくり

< K P I >

指標名	現状値	目標値
1日30分以上の運動・スポーツを 週2回以上実施している人の割合	43.6%(H26年度)	50%以上(H31年度)

<具体的な取組>

- ライフステージに応じた運動・スポーツの取組の拡充
 - ・幼児向け運動教室、シニア向けスポーツイベント など
 - ・総合型地域スポーツクラブの質向上や加入者増加に向けた継続支援

○身近な公共施設等の活用

- ・ 橿原公苑陸上競技場の夜間無料開放「ナイトラン」の充実
- ・ 社会体育施設の長寿命化と機能向上 など

(5) 地域で楽しむスポーツ、あこがれ・感動を生むスポーツの推進

< K P I >

指標名	現状値	目標値
スポーツイベント(総合型地域スポーツクラブ交流大会)の参加者数	3,038人(H26年度)	5,000人(H31年度)
プロスポーツ等の試合数(有料観戦)	32試合(H26年度)	50試合(H31年度)

< 具体的な取組 >

①参加型スポーツイベント等の拡充や新規・継続開催

○参加型スポーツイベントの充実

- ・ 総合型地域スポーツクラブによる交流大会の拡充
- ・ 「奈良マラソン」やリレーマラソン等の参加型スポーツイベントの継続開催 など

○豊かな地域資源を活かしたスポーツイベントの充実

- ・ カヌーやサイクルイベント等の充実 など

②あこがれ・感動を生むスポーツの推進

○プロスポーツ観戦機会の創出

- ・ プロ野球、プロバスケットボールの試合の誘致

○トップアスリートによるスポーツ教室の継続開催

- ・ 野球、サッカー、バスケットボール等のスポーツ教室の継続開催

○ラグビーワールドカップ・東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地招致活動

○トップアスリートの育成

- ・ 奈良県トレーニングセンターの整備

(6) 都市公園の管理・活用・整備の推進

< K P I >

指標名	現状値	目標値
馬見丘陵公園来園者数	936千人(H26年度)	1,000千人(H31年度)
まほろば健康パーク スイムピア 奈良一般利用者数	45,630人(H26年度)	47,000人(H31年度)

<具体的な取組>

○都市公園の利活用・適切な管理の推進

- ・ 誘客、利活用のための取組推進
- ・ 馬見丘陵公園において、花をテーマにしたイベントを実施
（奈良の彩りづくり事業、やまと花ごよみ開催事業）
- ・ 都市公園の今後のあり方を検討・整理（飛鳥宮跡地等）

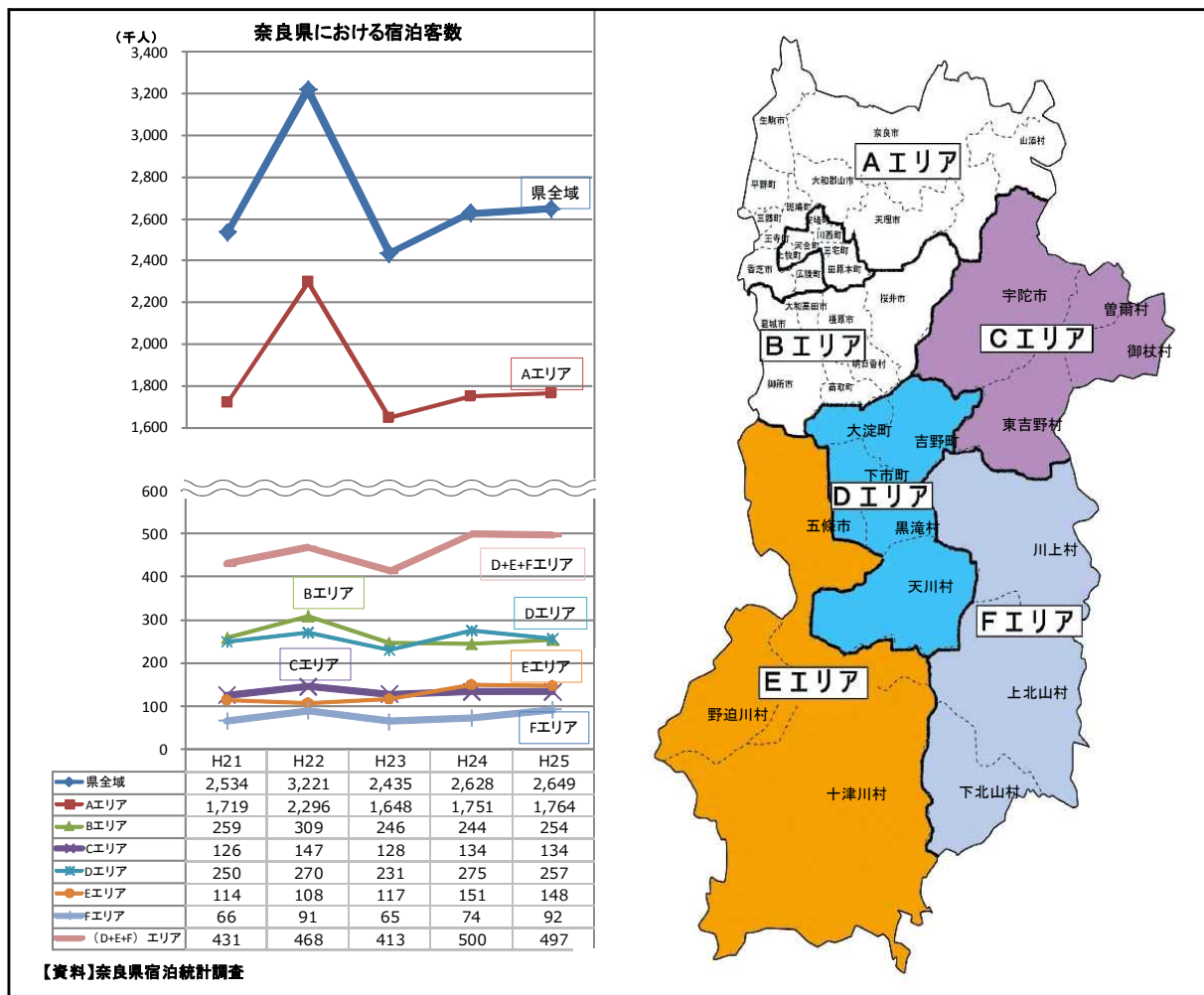
3 南部地域・東部地域への交流の促進

【基本的方向】

南部振興基本計画及び東部振興基本計画に基づき、南部地域・東部地域への観光客数やファンを増やすため、特色ある観光基盤の整備や、地域の特性を活かしたイベントの開催、情報発信の強化などに取り組みます。

【参考図表】

奈良県における宿泊客数の推移



【具体的施策】

(1) 観光資源となる地域資源の発見と創出

< K P I >

指標名	現状値	目標値
南部地域・東部地域の観光入込客数、宿泊客数	観光入込客数 南部:445万人(H25年) 東部:221万人(H25年)	観光入込客数 南部:550万人(H32年) 東部:280万人(H32年)
	宿泊客数 南部:50万人(H25年) 東部:13万人(H25年)	宿泊客数 南部:55万人(H32年) 東部:15万人(H32年)

① 特色ある食と宿泊施設等の整備推進

< 具体的な取組 >

- 「なら食と農の魅力創造国際大学校」(N A F I C) を核とした賑わいづくり
- 地域の特色ある「食」と「農」を活かした宿泊施設等の整備とその施設のネットワーク化(ぐるっとオーベルジュ)の推進
- 農家民宿等、特色のある宿泊施設の整備を支援 など

② 美しい景観づくり

< 具体的な取組 >

- 「なら四季彩の庭」づくりとして、四季折々に豊かな彩りを五感で楽しめる植栽や景観づくりを実施 など

③ 地域資源を活用した魅力づくり

< 具体的な取組 >

- 地域資源の魅力の再発見
- 地域の魅力を活用した旅行商品等の開発 など

④ 多様なスポーツ施設の整備

< 具体的な取組 >

- アウトドアスポーツを楽しむことのできる施設の整備促進
- 広域的な自転車利用ネットワークの整備推進((仮称)京奈和自転車道の整備)(再掲) など

(2) 南部地域・東部地域を多くの人に知ってもらうための情報発信

① 情報発信の強化

<具体的な取組>

- 奥大和プロモーションの実施
- 道の駅等における観光情報の提供と市町村等と連携したイベントの実施
- 首都圏等での観光情報発信の強化
- 外国人観光客誘致キャンペーンの実施 など

(3) 実際に南部地域・東部地域を訪れてもらうための仕掛けづくり

① スポーツイベントの開催

<具体的な取組>

- 地域の地形や自然を活かしたスポーツイベントの開催
- スポーツ選手の自主トレや合宿の誘致 など

② 音楽・芸術イベントの開催

<具体的な取組>

- ムジークフェストならの開催（再掲）
- 野外音楽フェスティバルや芸術イベントの開催 など

③ 地域資源を活用したイベントの開催

<具体的な取組>

- 地域資源を活用した各種イベントの開催
- 地域伝統行事の活性化 など

④ 交通アクセスの支援

<具体的な取組>

- 駅等から観光地までの直行バスの運行や路線バス利用者に対する補助
- 主要な観光地にアクセスする道路整備の推進 など

⑤ おもてなしの向上

<具体的な取組>

- 旅館経営者や市町村職員を対象とした「おもてなしセミナー」の開催
- 地域独自のおもてなしの取組の支援 など

⑥ 誘客促進の仕掛けづくり

<具体的な取組>

- 雑誌などと連携した誘客促進の仕掛けづくり
- 観光地などにおける多言語表示や無線LAN・Wi-Fi整備の推進 など